

令和6年3月31日

事業報告

下呂市デジタル完結キャンペーン



下呂市デジタル課

報告内容



キャンペーン内容



xIDアプリの登録状況



下呂デジポイント

キャンペーン内容

下呂市では「デジタル通知サービス」の普及策の一環として、スマートフォンにxIDアプリ（xID株式会社）をインストールし、下呂市からの通知設定を行った市民に対して、みずほ銀行が提供するスマホ決済サービス：J-Coin Payを利用した、下呂市内限定で利用できるポイント「下呂デジポイント（5,000円分）」を付与する下呂市デジタル完結（通称：デジ完）キャンペーンを実施しました。

下呂市民限定

**デジタル完結
キャンペーン**

9/4月 ▶ 2/29木

先着9,600名様

xIDアプリの登録と
自治体のお知らせを設定すると

5,000円分をプレゼント!

“市内の加盟店で使える
下呂デジポイント”

詳細はこちら

キャンペーンの流れ

下呂市

住民

STEP1



xIDアプリ
J-Coin Payアプリ

アプリの登録
・受取設定

マイナンバーカード必須



対象者に通知

STEP2



xID

給付を通知

本人のみ受領可能

STEP3



J-Coin Pay

デジタル給付
(5,000ポイント)

下呂デジポイント

xIDアプリの登録状況



xIDアプリ登録者

全体※

32 %

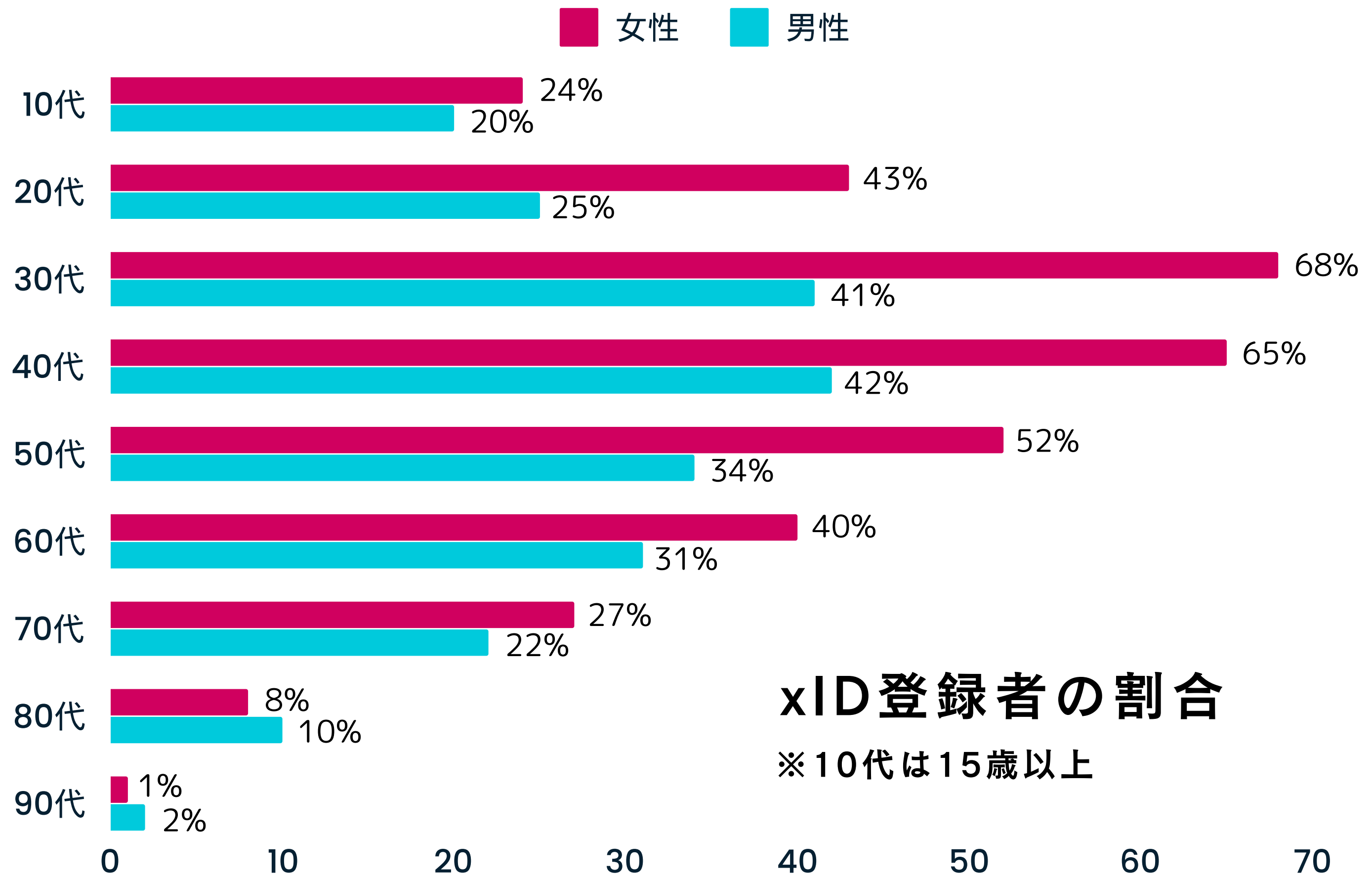
こども園の
保護者世帯

90 %

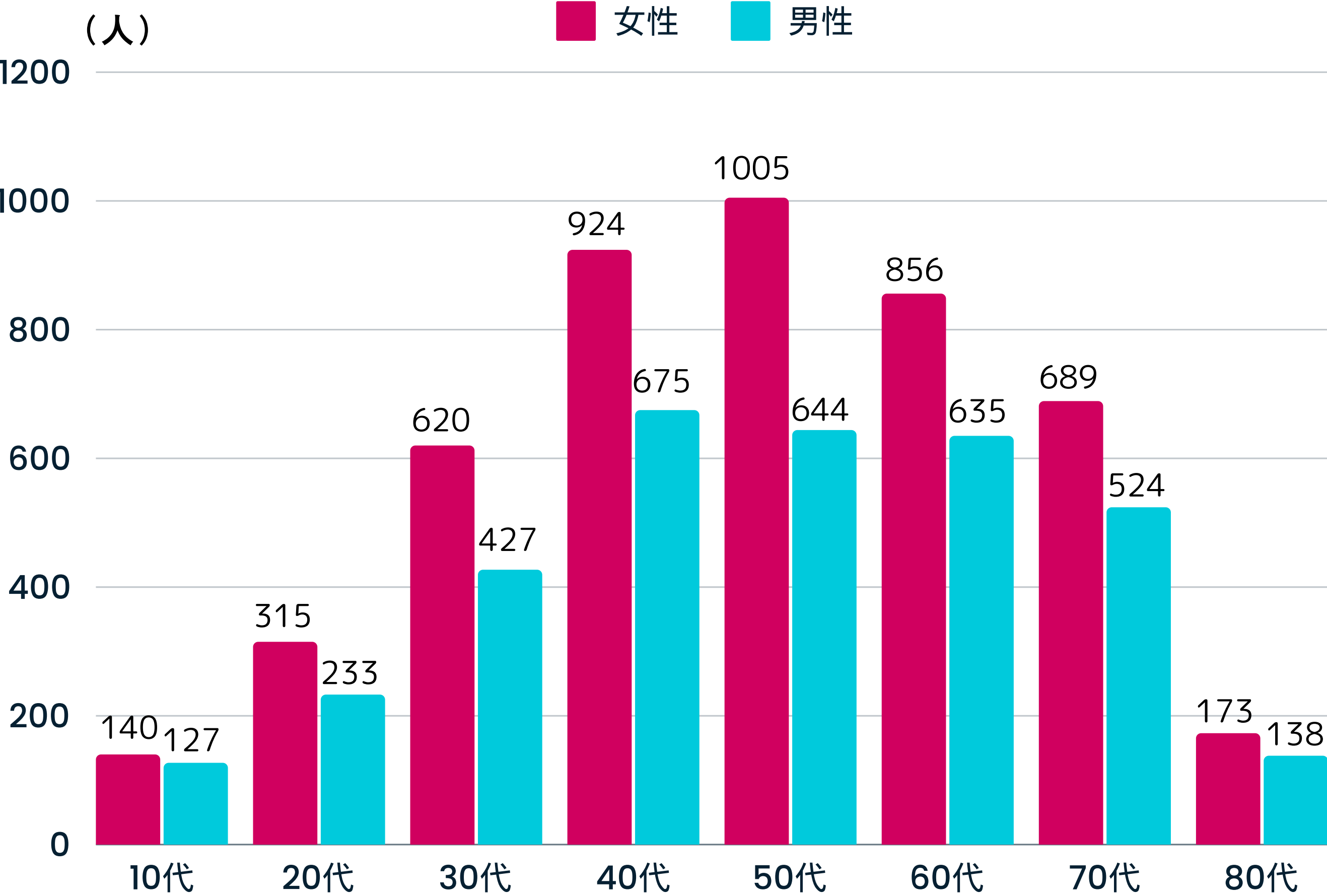
小中学生の
保護者世帯

68 %

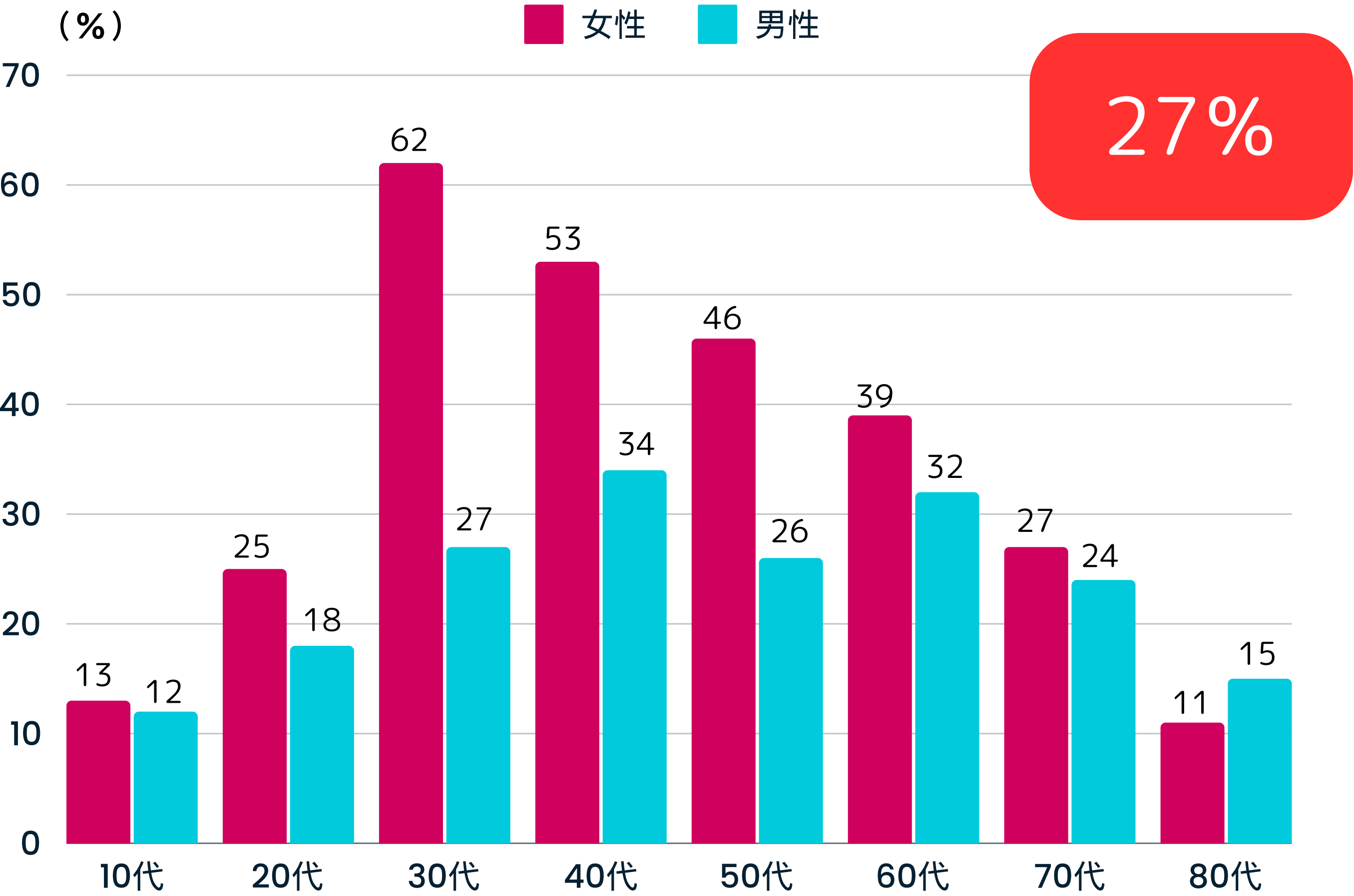
※分母は15歳以上の市民



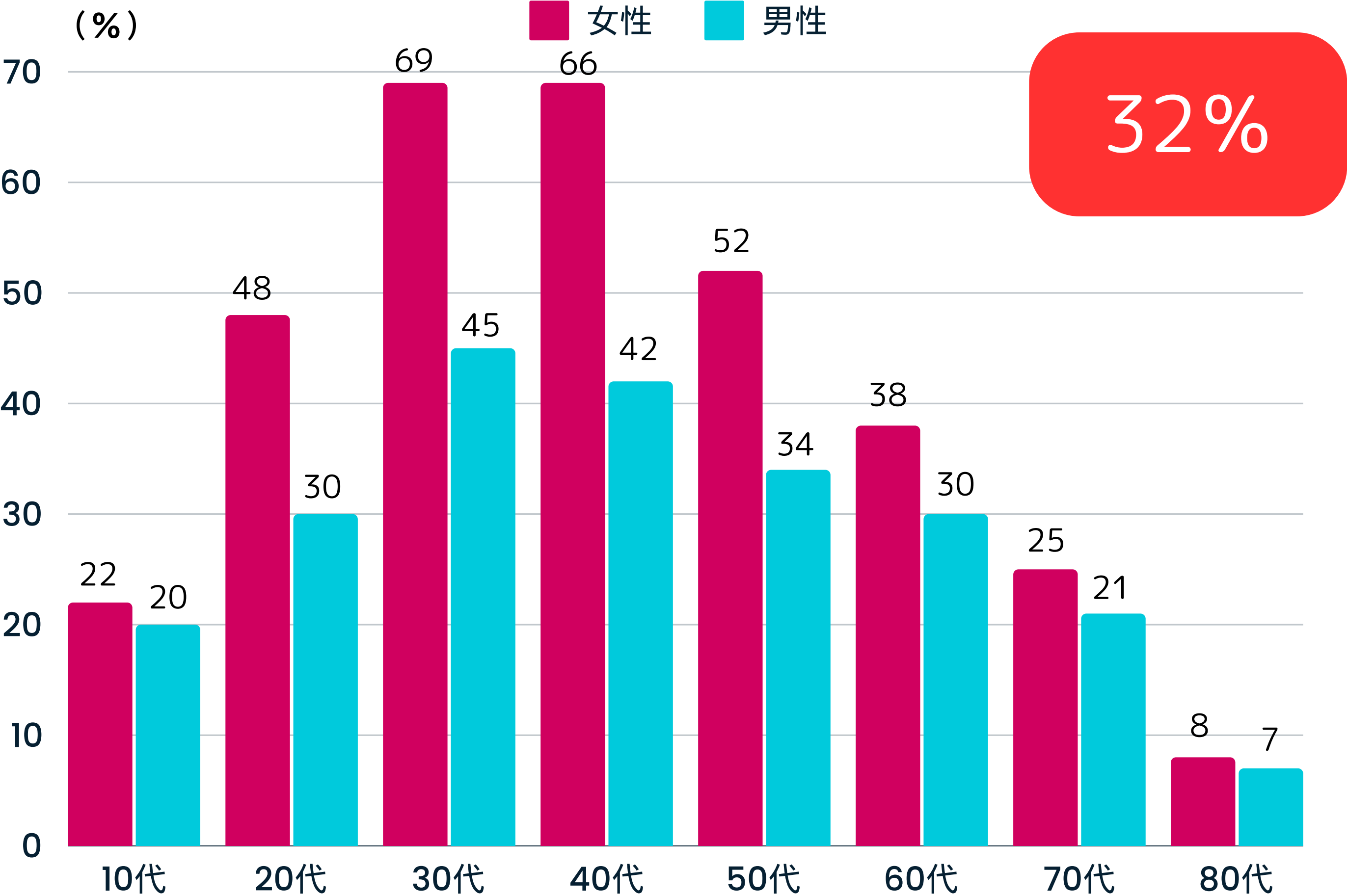
年代別 xID登録者数



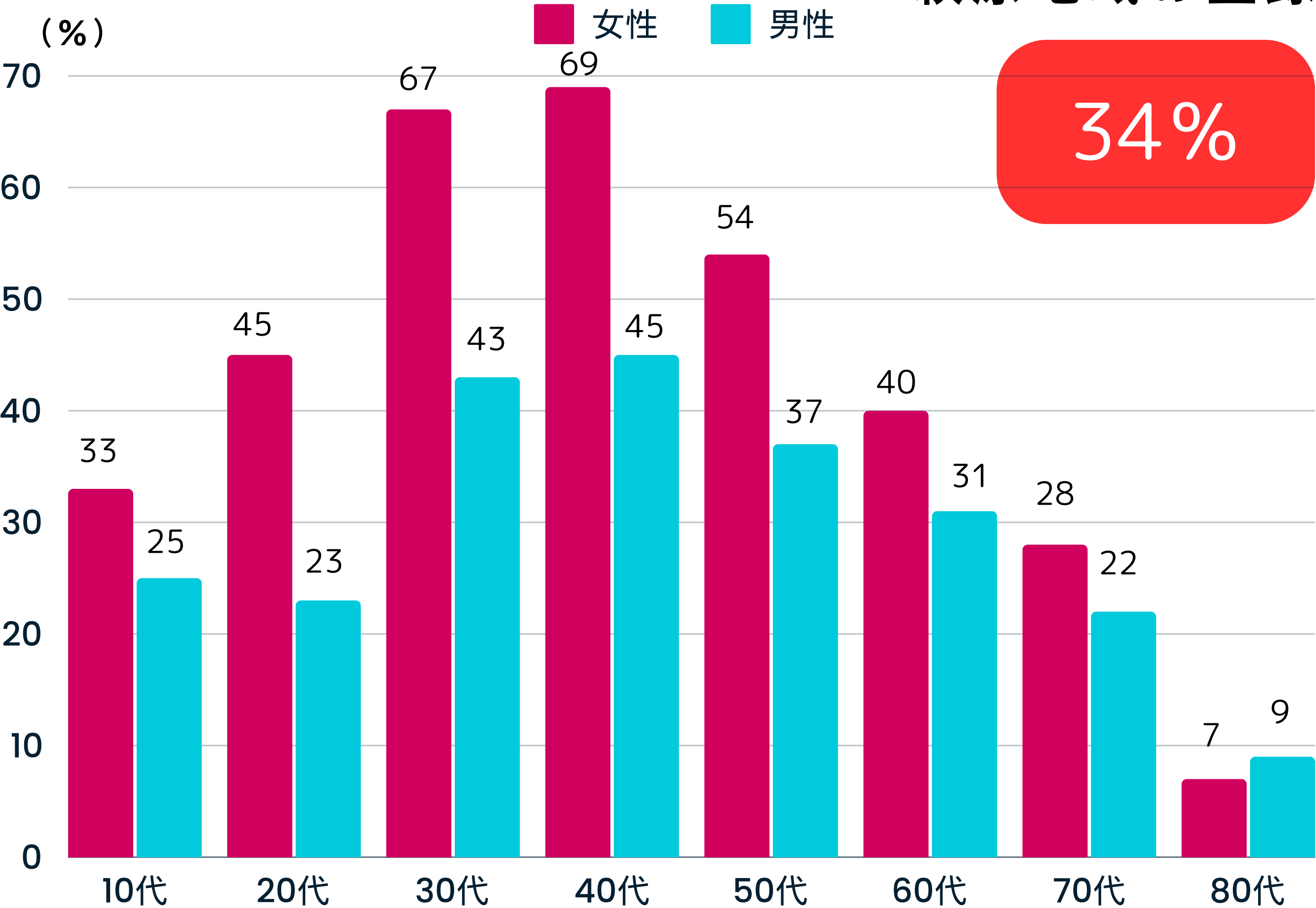
金山地域の登録率



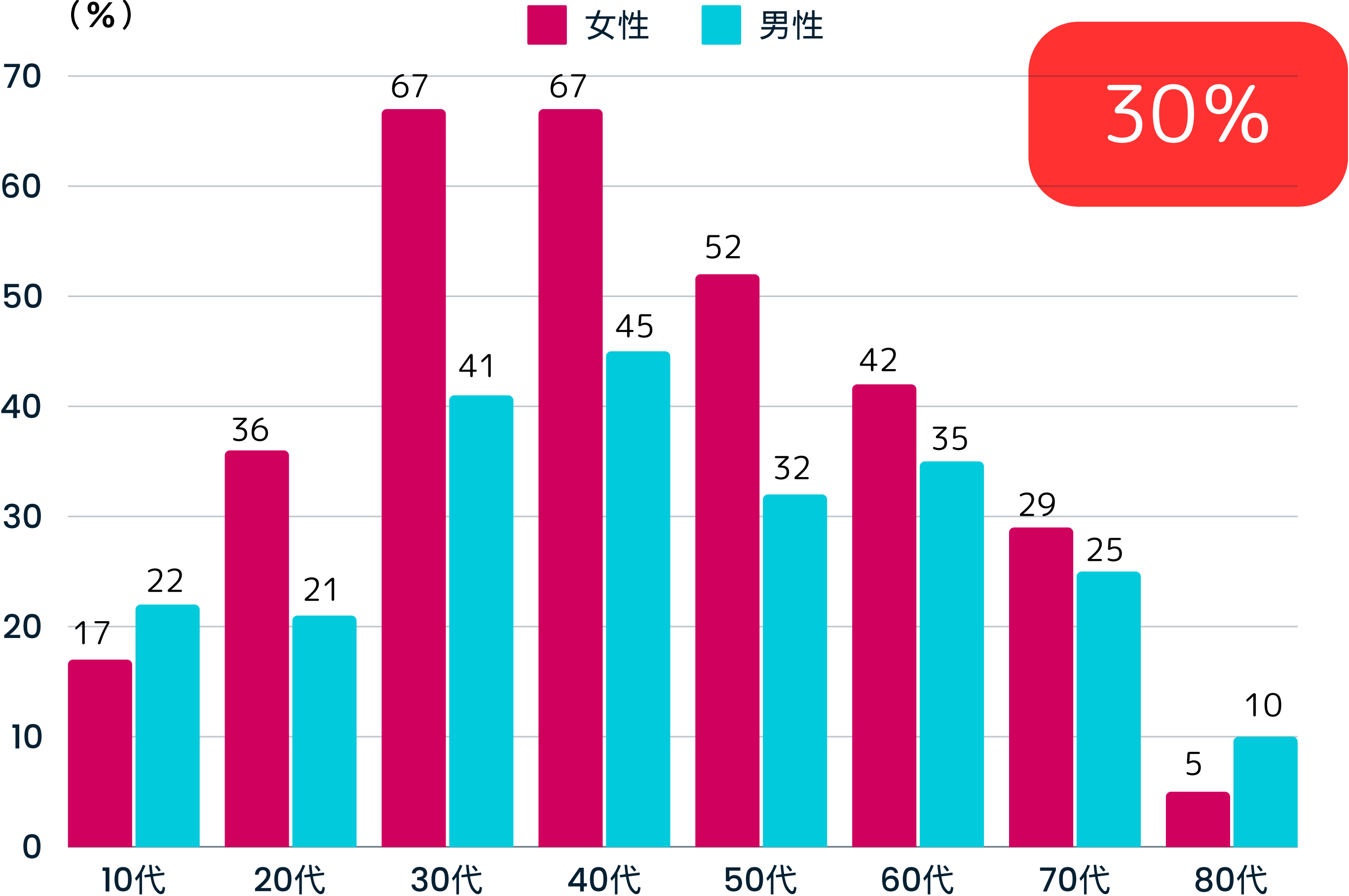
下呂地域の登録率



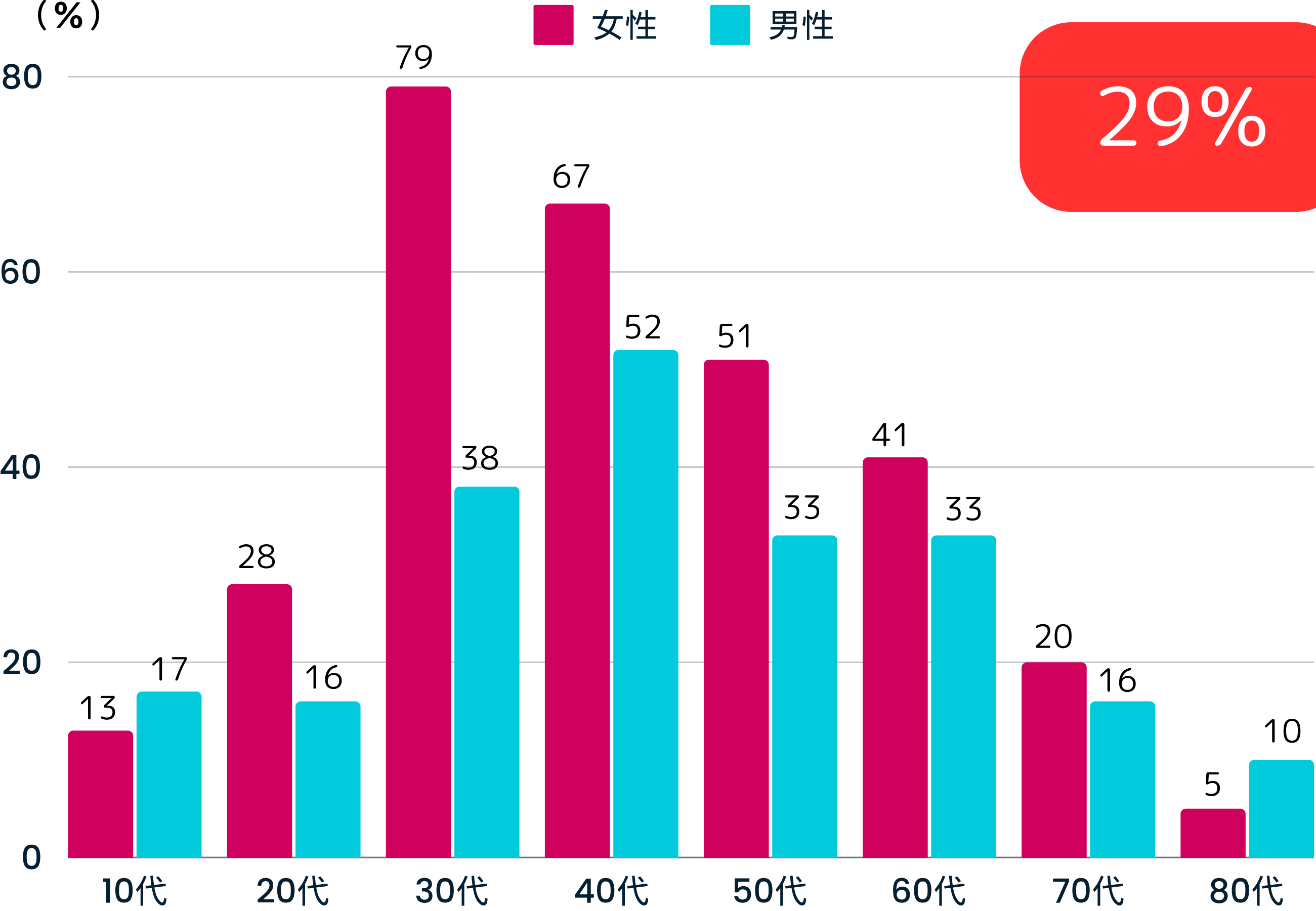
萩原地域の登録率



小坂地域の登録率



馬瀬地域の登録率



xIDアプリの出張支援を実施

今回、さらなるxIDアプリの普及のため、下呂ショッピングセンターピア及びバロー萩原店にて「出張支援窓口サポート」を実施しました。通常は毎週木曜日を基準として、翌週の月曜日にポイントをxIDアプリに通知していますが、出張窓口にて登録いただいた方にはその日にポイントをxIDアプリに通知しました。

＼出張サポート／

xID(クロスアイディ)・J-Coinアプリ導入支援

最短10分
無料で
できます

9月から開始した『下呂市デジタル完結キャンペーン』
先着9,600人に**5,000円分**のポイントプレゼント
まだ間に合います（下呂市民限定）

11/26 (日)

当日に
下呂デジポイント
付与予定

時間 9:30～12:00
場所 ショッピングセンターピア
やましげ前

・必要なもの

スマートフォン マイナンバーカード カード変換時に設定した
6～10桁の暗証番号

※暗証番号がわからない方
『事前に市役所で再設定が必要』となります
※スマホがマイナカードを読み取れる必要があります

主催 下呂市デジタル課 ☎0576-24-2627



下呂デジポイントの概要



給付金額	39,520,000円
利用金額	37,598,683円
利用率	95.1%
未利用金額	1,921,317円

登録店舗の業種別分布

業種	登録店舗数	登録店舗比	利用店舗数	利用店舗比
サービス	137店	30.0%	69店	25.7%
ショッピング	158店	34.7%	81店	30.1%
飲食店	97店	21.3%	66店	24.5%
コンビニエンスストア	14店	3.1%	9店	3.3%
医療・病院	7店	1.5%	7店	2.6%
ドラッグストア	9店	2.0%	9店	3.3%
スーパーマーケット	16店	3.5%	16店	6.0%
家電量販店	6店	1.3%	5店	1.9%
教育（学校・塾）	1店	0.2%	1店	0.4%
その他	11店	2.4%	6店	2.2%
総計	456店	100.0%	269店	100.0%

給付者・利用者の属性別の内訳

<性別>

	女性	男性	総計
給付者数（人）	4,621 (58.5%)	3,283 (41.5%)	7,904
給付金額（円）	23,105,000 (58.5%)	16,415,000 (41.5%)	39,520,000
利用回数（回）	12,062 (57.9%)	8,784 (42.1%)	20,846
利用金額（円）	22,107,460 (58.8%)	15,491,223 (41.2%)	37,598,683
費消率※	95.7%	94.4%	95.1%

<ユーザー登録状況別>

	Pay	Lite	総計
給付者数（人）	1,123 (14.2%)	6,781 (85.8%)	7,904
給付金額（円）	5,615,000 (14.2%)	33,905,000 (85.8%)	39,520,000
利用回数（回）	3,521 (16.9%)	17,325 (83.1%)	20,846
利用金額（円）	5,377,222 (14.3%)	32,221,461 (85.7%)	37,598,683
費消率※	95.8%	95.0%	95.1%

<年代別>

	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	総計
給付者数（人）	252 (3.2%)	550 (6.9%)	1,004 (12.7%)	1,546 (19.6%)	1,611 (20.4%)	1,459 (18.5%)	1,178 (14.9%)	304 (3.8%)	7,904
給付金額（円）	1,260,000 (3.2%)	2,750,000 (6.9%)	5,020,000 (12.7%)	7,730,000 (19.6%)	8,055,000 (20.4%)	7,295,000 (18.5%)	5,890,000 (14.9%)	1,520,000 (3.8%)	39,520,000
利用回数（回）	765 (3.7%)	1,686 (8.1%)	3,111 (14.9%)	4,497 (21.6%)	4,209 (20.2%)	3,658 (17.5%)	2,417 (11.6%)	503 (2.4%)	20,846
利用金額（円）	1,186,389 (3.2%)	2,596,237 (6.9%)	4,798,771 (12.8%)	7,361,277 (19.6%)	7,648,345 (20.3%)	6,961,646 (18.5%)	5,618,888 (14.9%)	1,427,130 (3.8%)	37,598,683
費消率※	94.2%	94.4%	95.6%	95.2%	95.0%	95.4%	95.4%	93.9%	95.1%

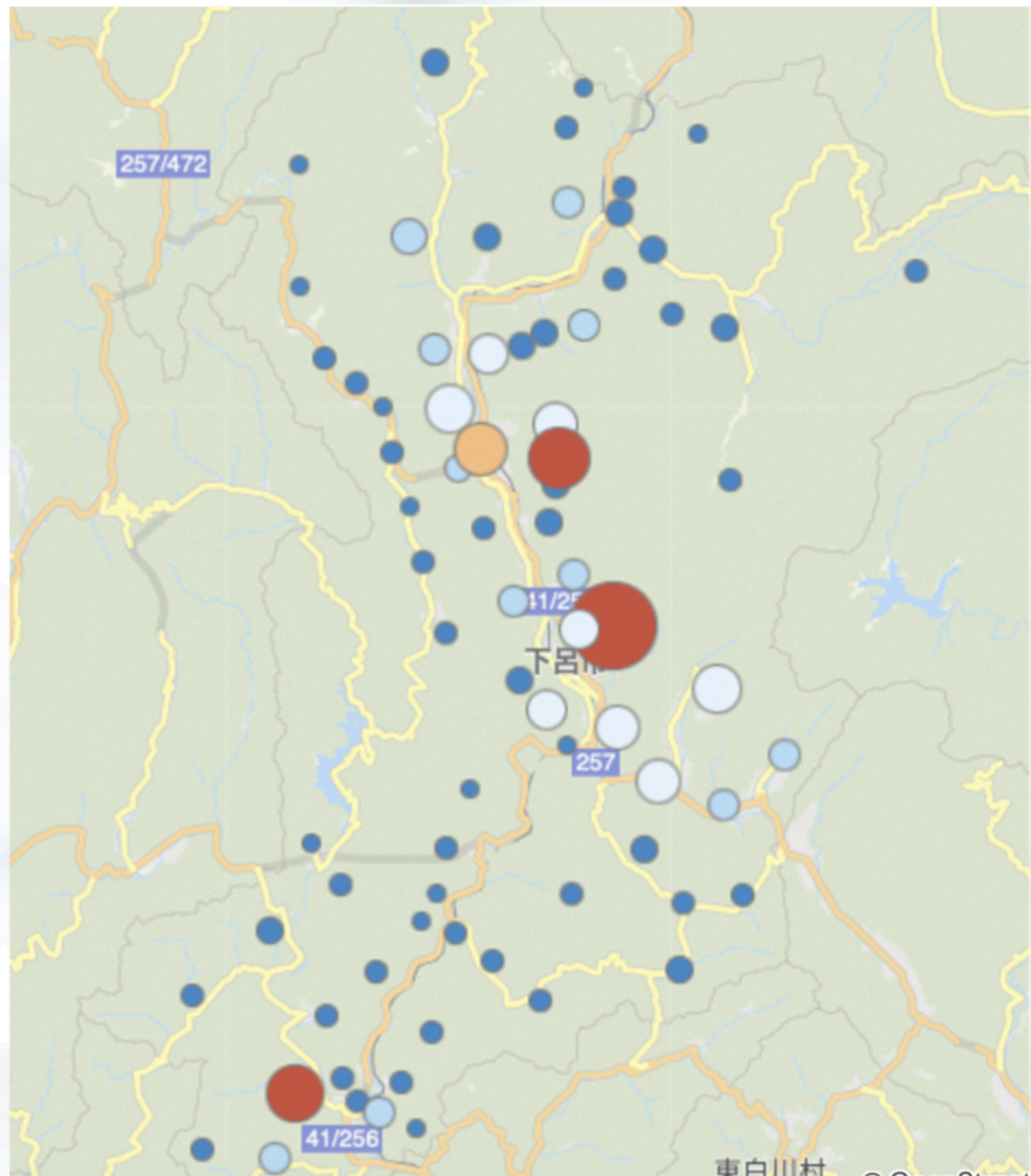
※費消率＝利用金額÷給付金額

分析概要 事実・考察

項目		事実	考察
給付者	男女別	事業全体では男性の割合が約41%程度、女性が約59%程度 子育て世帯応援事業の除くと、男性46%女性54%	- 全体の割合としては女性が多いが、子育て世帯応援分を考慮すると、男性の受取対象者も多く存在 - xIDを導入するだけで参加可能という手軽さが引き金となったか
	年代別	事業全体では30代～70代が多く、子育て世帯応援事業を除くと、70代のユーザーが上位3番目になり、他の自治体の商品券事業と比較すると比率としては高い	- 人口に対して比例しているが、高齢者の参加率が高く、下呂市役所による現地サポートの効果がかったものと推測 - 事業のPRとしては、チラシ、市報、市HPで展開したことで、若年層やスマホネイティブ世代には効果的に訴求できなかった可能性もあり、改善の余地があるものと思慮
	口座登録率	1割強のユーザーしか、口座接続を実施していない 5,000円の受け取りはLiteユーザーでも可能	現状、日常的にJ-Coinを使うまでには至っておらず、給付分の利用できる最低限のユーザーステータスで利用していたものと推測
給付者 利用情報	利用状況	土日祝日の利用が多い 昼間の利用が多い 馬瀬、小坂エリア在住者は萩原エリアでの買い物が多い 期限間際の利用金額も高い	- 日常使いでの利用がメインだったものと推測 - 馬瀬、小坂エリアの方は日常的に萩原まで買い物に出掛けている傾向にある - リマインド効果がかったものと推測
加盟店	利用状況	スーパーマーケットによる利用が大半を占めた 飲食店では5,000円を一度に利用するケースが目立った	多くの人が日常使いの足しにするマインドが多かった一方、5,000円分を贅沢の足しにしたユーザーも一定数存在したものと思慮

給付者の居住地域

居住地域・町域別の給付者の割合は下図の通り。各地域の人口通りの数値になっているものと推測

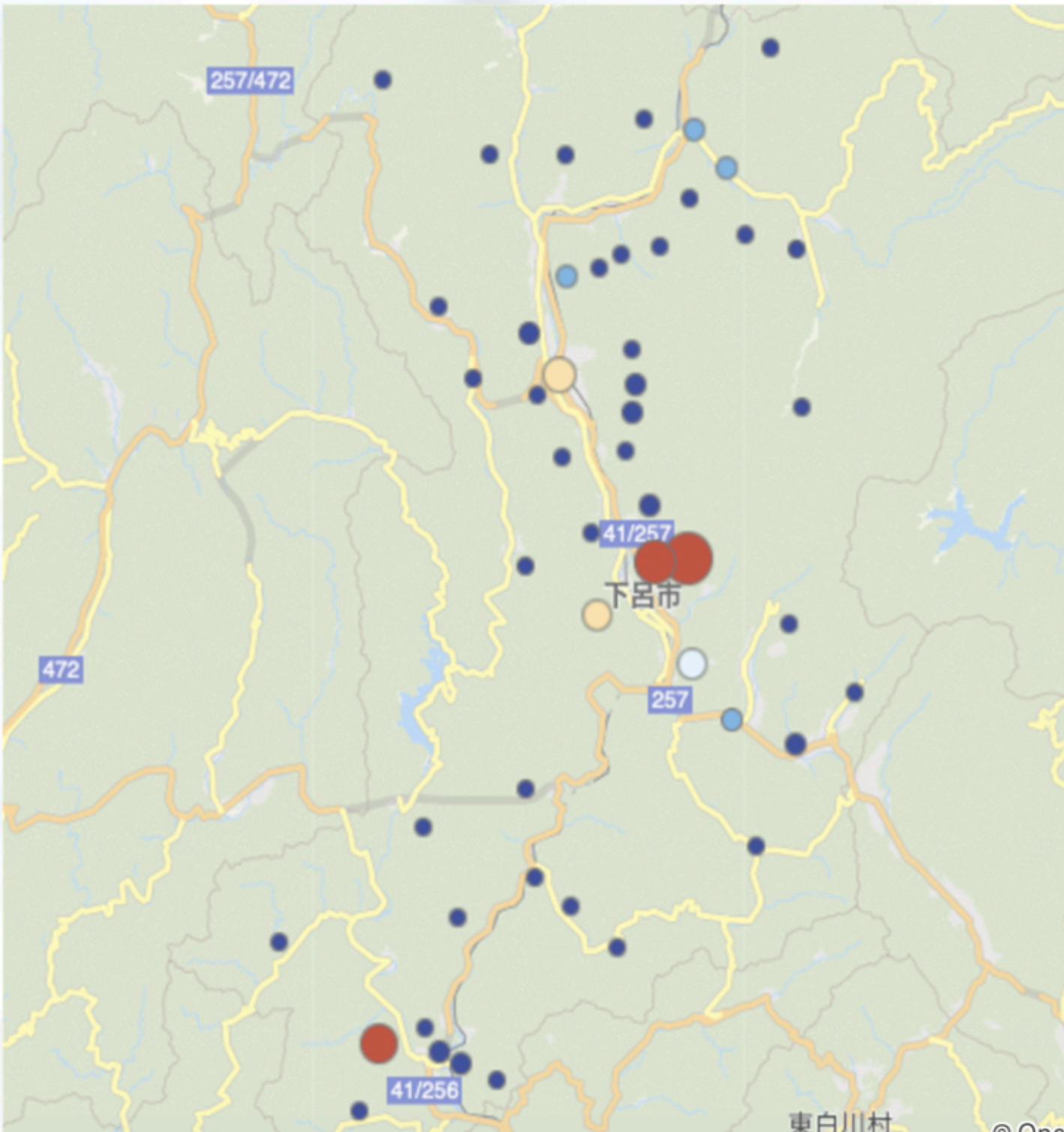


地域	給付者数（人）	比率
下呂地域	2,929	37.1%
萩原地域	2,808	35.5%
金山地域	1,229	15.5%
小坂地域	696	8.8%
馬瀬地域	242	3.1%
総計	7,904	100.0%

No	地域	町域	給付者数（人）	比率
1	下呂地域	森	691	8.7%
2	萩原地域	萩原町上村	430	5.4%
3	金山地域	金山町金山	409	5.2%
4	萩原地域	萩原町萩原	368	4.7%
5	下呂地域	乗政	290	3.7%
6	萩原地域	萩原町羽根	284	3.6%
7	萩原地域	萩原町桜洞	257	3.3%
8	下呂地域	小川	254	3.2%
9	下呂地域	宮地	249	3.1%
10	萩原地域	萩原町上呂	228	2.9%
上位11位以下			4,444	56.2%
総計			7,904	100.0%

店舗の分布

店舗の分布は以下の通り。市の中心地に集中する傾向もあるが、益田信用組合による加盟店募集活動もあり、どの地域でもポイントを利用できる状態であった。

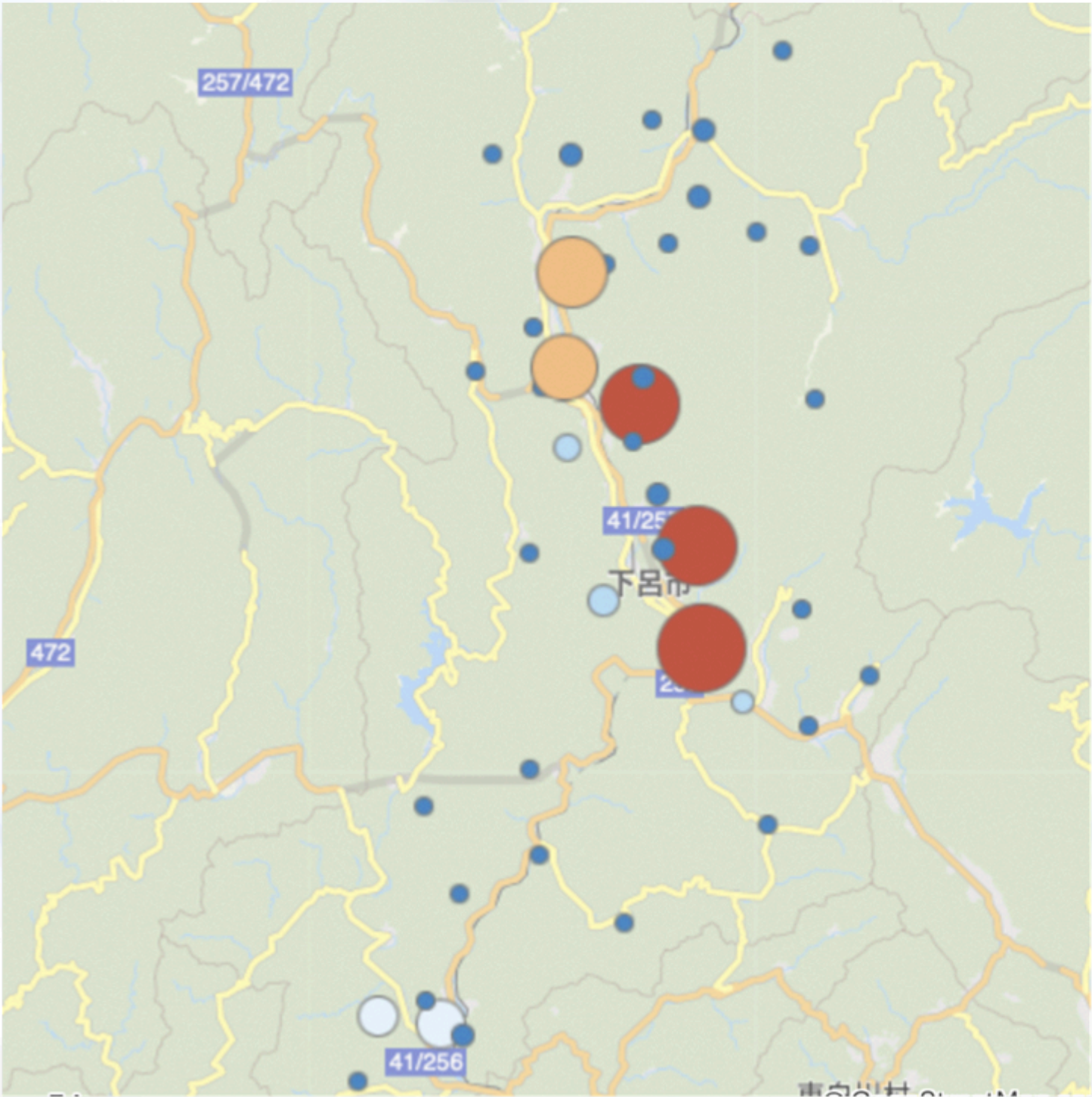


店舗数		登録店舗数（店）	比率
■	50店以上		
■	40～49店		
■	30～39店		
■	20～29店		
■	10～19店		
■	1～9店		
地域		登録店舗数（店）	比率
萩原地域		88	19.3%
下呂地域		240	52.6%
金山地域		72	15.8%
小坂地域		50	11.0%
馬瀬地域		6	1.3%
総計		456	100.0%

No	地域	町域	登録店舗数（店）	比率
1	下呂地域	森	77	16.9%
2	下呂地域	湯之島	60	13.2%
3	金山地域	金山町金山	50	11.0%
4	萩原地域	萩原町萩原	35	7.7%
5	下呂地域	幸田	32	7.0%
6	下呂地域	小川	27	5.9%
7	萩原地域	萩原町上呂	14	3.1%
8	小坂地域	小坂町小坂町	13	2.8%
9	小坂地域	小坂町長瀬	13	2.8%
10	下呂地域	宮地	11	2.4%
上位11位以下			124	27.2%
総計			456	100.0%

店舗地域別利用金額

地域・町域別の利用金額は下図の通り。**幹線道路沿いに、利用金額の高い地域が集中**している。
この傾向は「子育て世帯支援事業」においても、同様の傾向であった。



利用金額(円)	
■	500万円以上
■	300万円～500万円未満
■	100万円～300万円未満
■	50万円～100万円未満
■	50万円未満

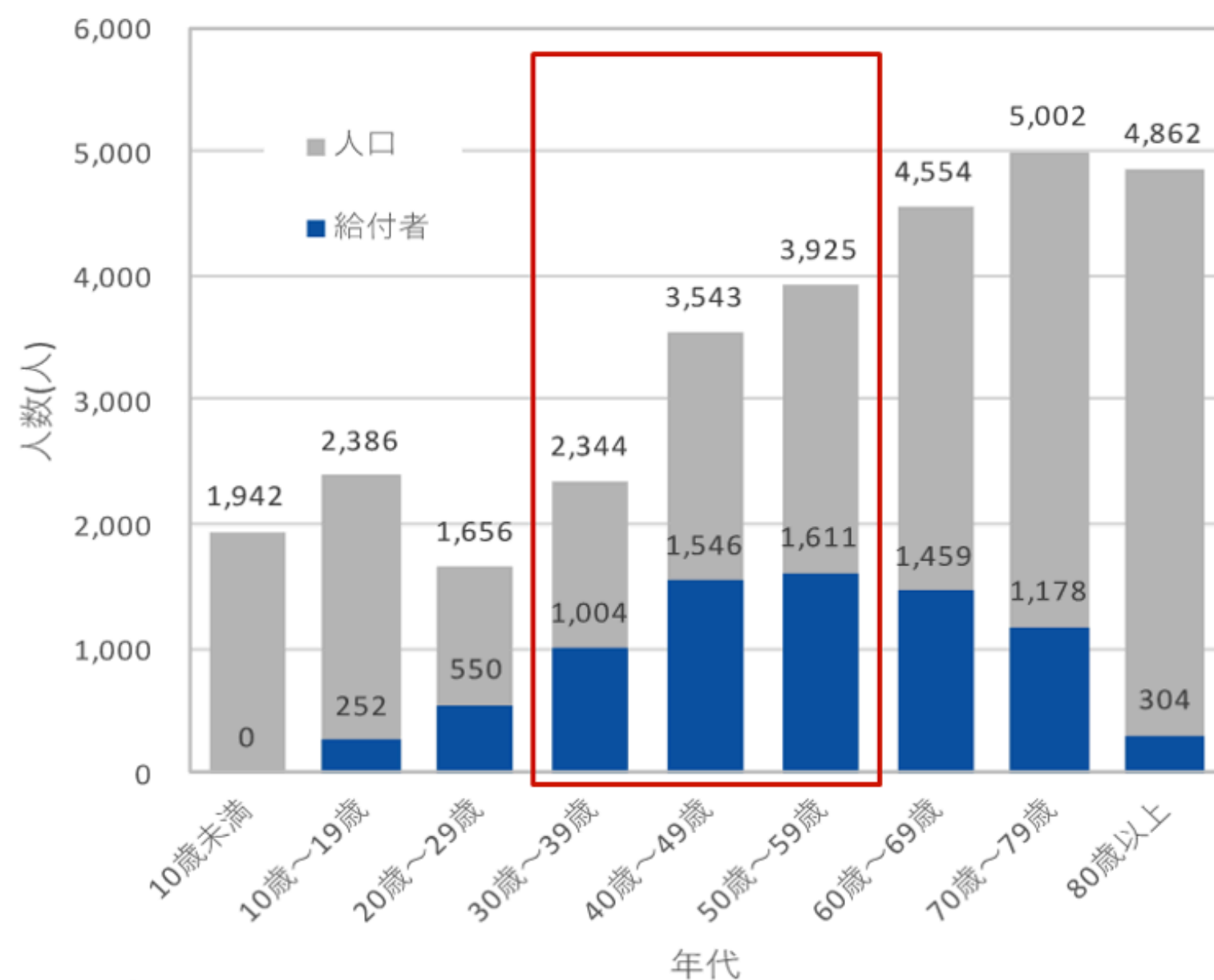
地域	利用金額（円）	比率
萩原地域	16,981,835	45.2%
下呂地域	13,990,945	37.2%
金山地域	4,946,520	13.2%
小坂地域	1,559,032	4.1%
馬瀬地域	120,351	0.3%
総計	37,598,683	100.0%

No	地域	町域	利用金額（円）	比率
1	萩原地域	萩原町花池	6,134,561	16.3%
2	下呂地域	小川	6,060,556	16.1%
3	下呂地域	森	5,234,695	13.9%
4	萩原地域	萩原町上呂	4,542,983	12.1%
5	萩原地域	萩原町萩原	4,306,004	11.5%
6	金山地域	金山町下原町	2,688,556	7.2%
7	金山地域	金山町金山	1,779,991	4.8%
8	下呂地域	幸田	952,908	2.5%
9	小坂地域	小坂町坂下	920,573	2.4%
10	萩原地域	萩原町跡津	758,934	2.0%
上位11位以下			4,218,922	11.2%
総計			37,598,683	100.0%

年齢別給付者数と人口の比較

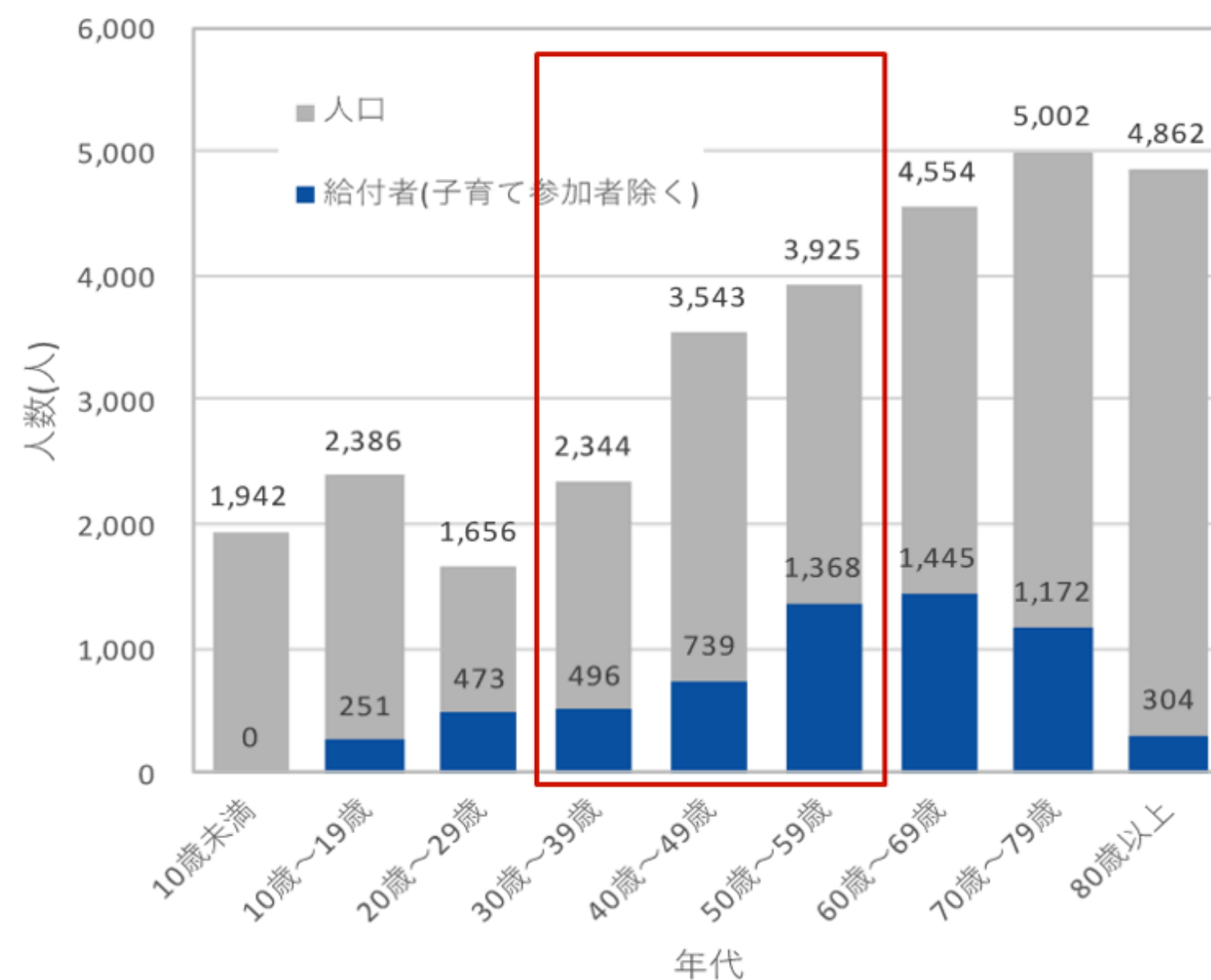
下呂市デジタル完結キャンペーン全体としては、**30歳～79歳までの幅広い年代で関心度の高い事業**であったことがわかる。子育て世帯応援事業の給付金を除いた場合は、50歳以上の給付対象者が多い。

給付者と人口の比較



参考：令和2年国勢調査

子育て臨時事業参加者を除いた給付者と人口の比較

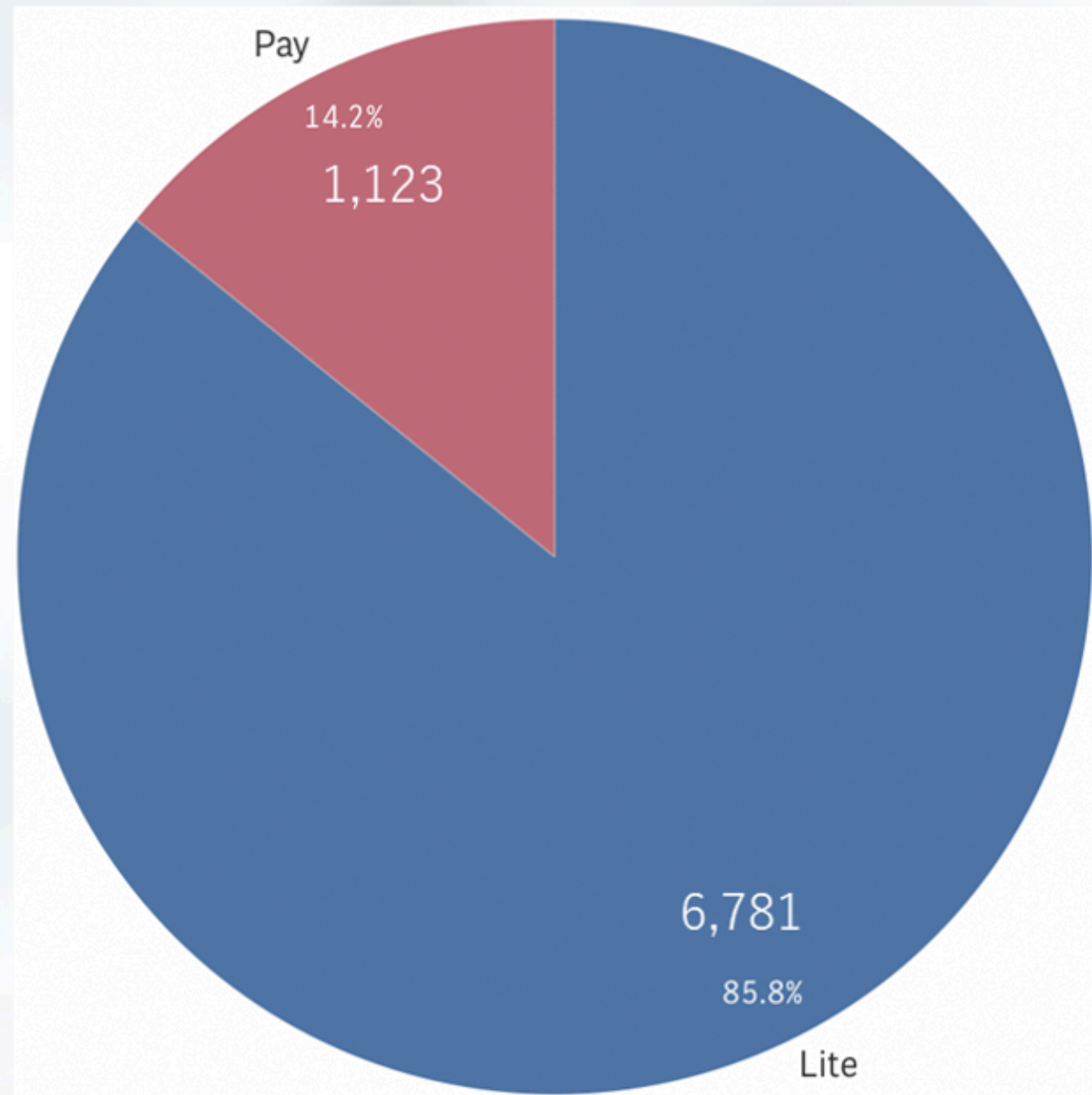


給付者の口座登録状況

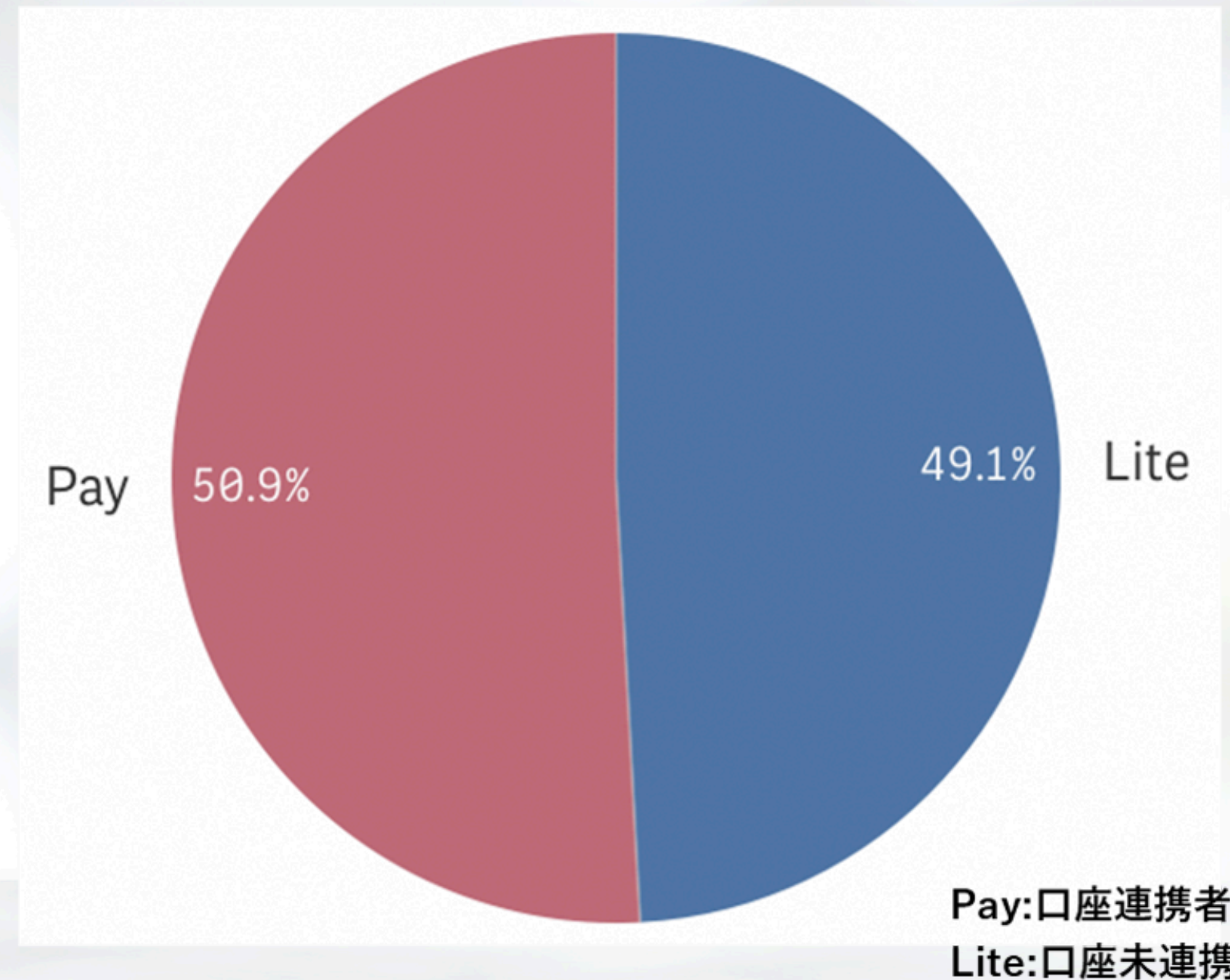
給付者の口座登録状況は15%未満と低い水準となった。（参考値：下呂市子育て世帯支援事業は21.9%）

本事業では5,000ポイントの給付のため、Liteユーザーのステータスでも受取が可能だったため、口座登録が進まない状況になったものと推測

給付者の口座登録状況の分布

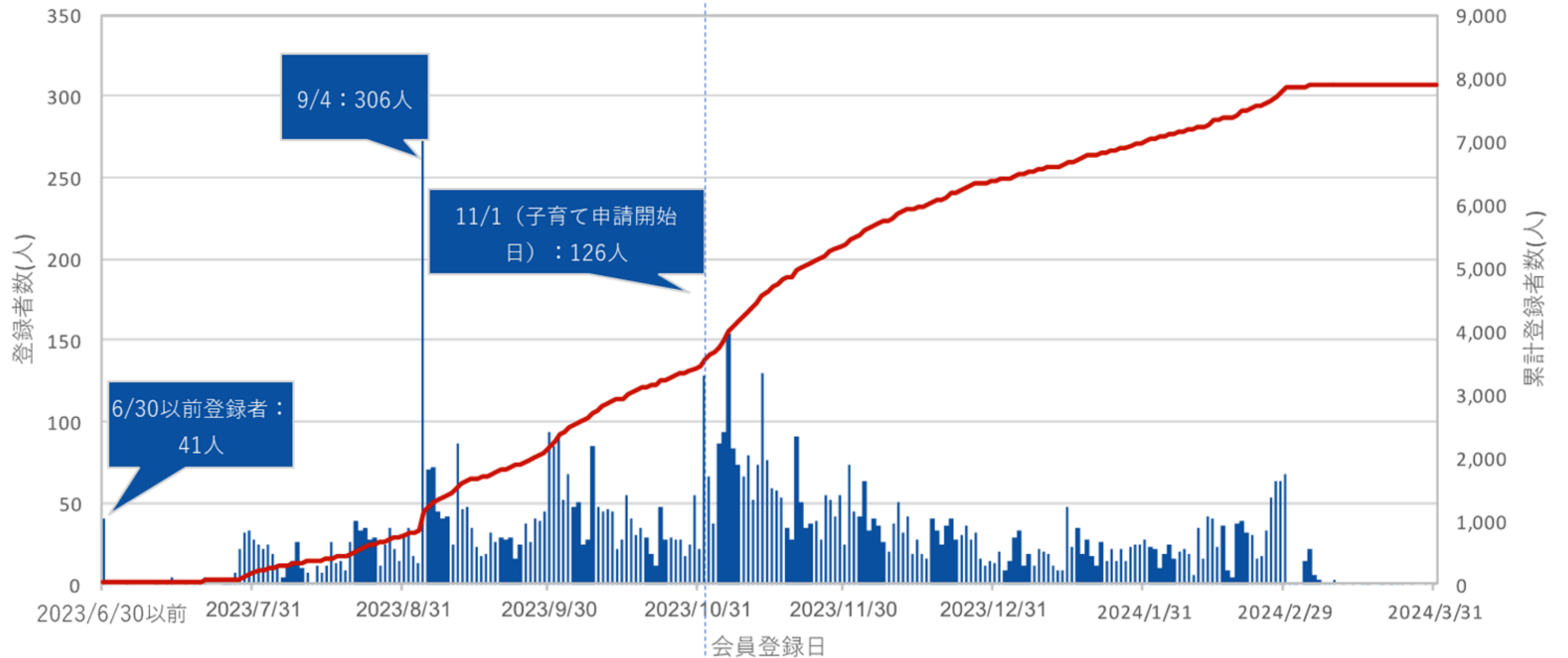


J-Coin全体の口座登録状況の分布



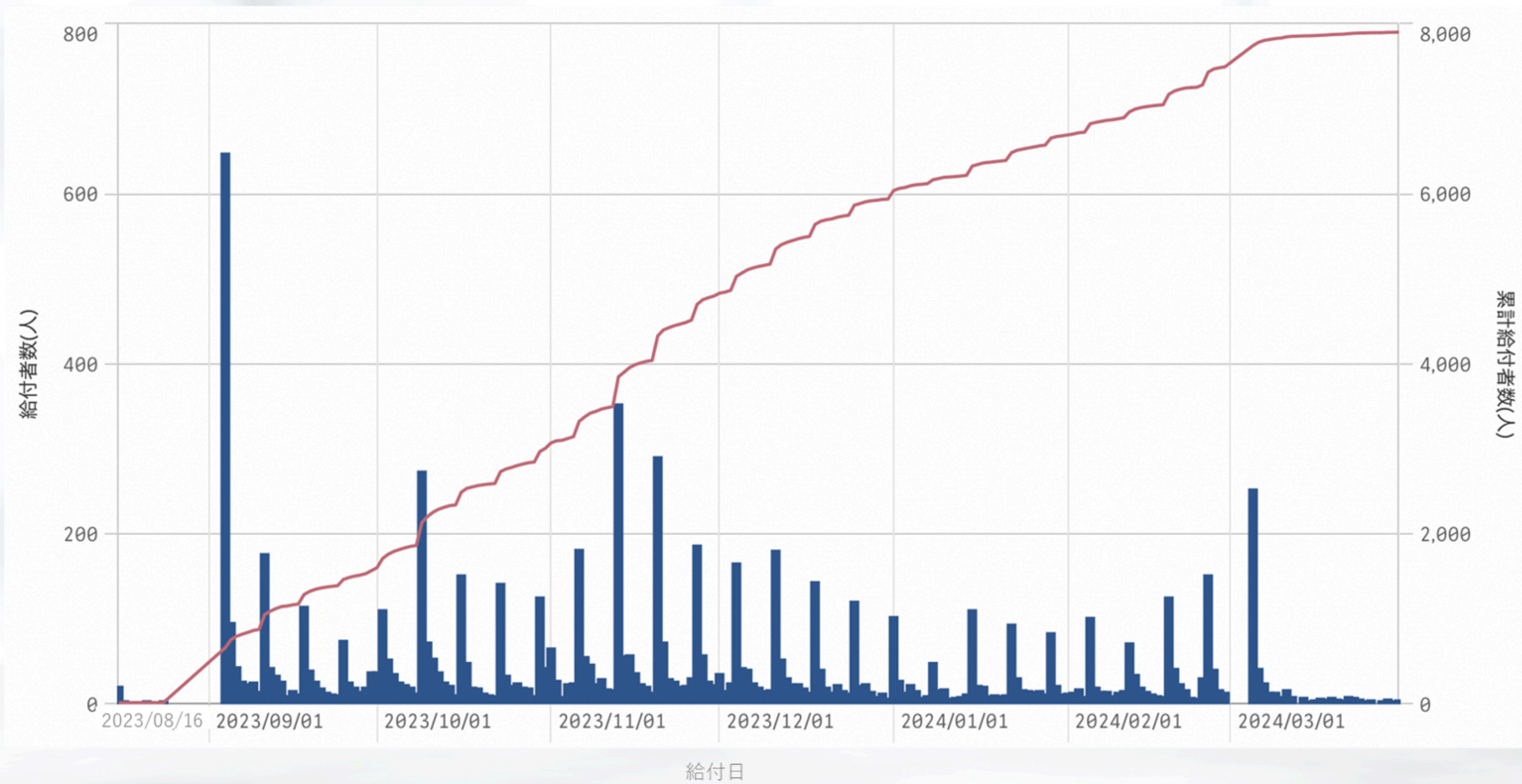
登録者数の推移

初回給付日の9/4が最も多く登録を実施している。子育て世帯支援事業開始時にも多く方が登録を実施



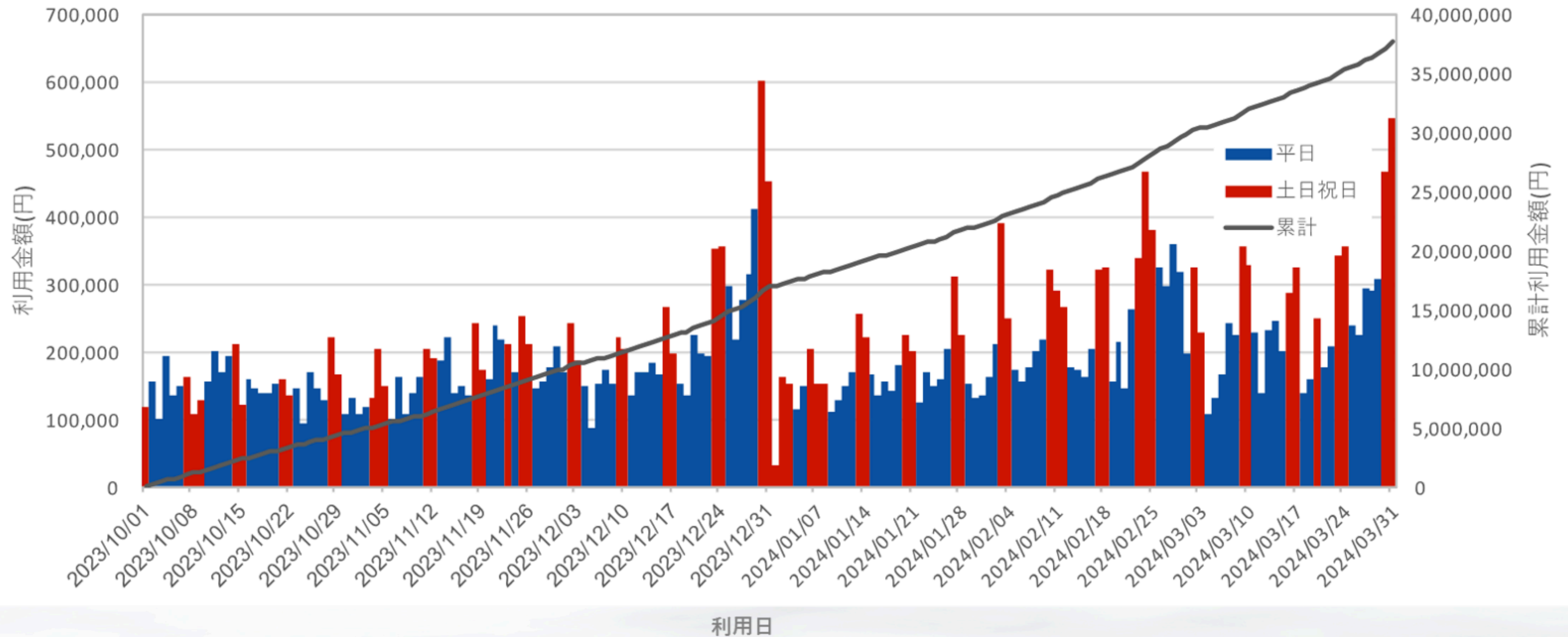
給付者数の推移

初回給付時に登録後直ちに受け取ったユーザが多い。その他の期間においても、給付日当日に受け取ったユーザが多い傾向にある。



利用金額の推移

土日祝日の利用が多い。利用期間最後は全体を通じて高い利用水準にあることから、駆け込みで利用した人が一定数存在する。利用状況の特徴については子育て世帯支援事業も同様であった。



未利用残高別状況

半分以上の人が全額利用し、90%以上の方は未利用残高が500円未満となった。
1円も利用していない人が190人（全体の2.4%）いた。

未利用残高	ユーザー数（人）	ユーザー比率	利用金額（円）	未利用金額（円）
0円	4,129	52.2%	20,645,000	0
1円～499円	3,084	39.0%	15,092,679	327,321
500円～999円	262	3.3%	1,128,054	181,946
1,000円～1,999円	160	2.0%	570,379	229,621
2,000円～2,999円	47	0.6%	121,708	113,292
3,000円～3,999円	22	0.3%	34,458	75,542
4,000円～4,999円	10	0.1%	6,405	43,595
5,000円	190	2.4%	0	950,000
総計	7,904	100.0%	37,598,683	1,921,317

【参考】全額利用者・全額未利用者の属性

全額利用者

年代	女性	男性	統計
10歳～19歳	70	42	112
20歳～29歳	132	91	223
30歳～39歳	322	166	488
40歳～49歳	475	309	784
50歳～59歳	592	319	911
60歳～69歳	494	326	820
70歳～79歳	357	273	630
80歳以上	86	75	161
総計	2,528	1,601	4,129

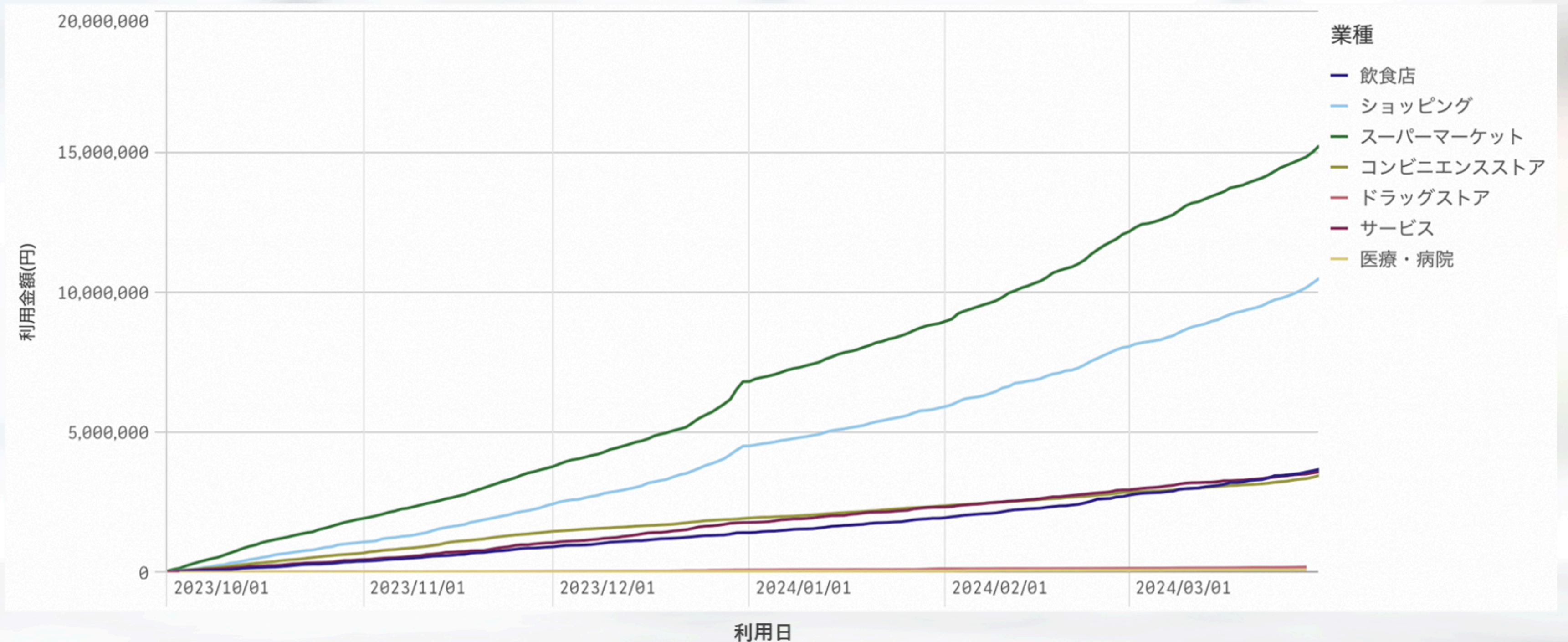
全額未利用者

単位：人

年代	女性	男性	統計
10歳～19歳	5	3	8
20歳～29歳	6	7	13
30歳～39歳	10	5	15
40歳～49歳	11	23	34
50歳～59歳	22	22	44
60歳～69歳	12	25	37
70歳～79歳	18	10	28
80歳以上	8	3	11
総計	92	98	190

業種別における利用金額の推移

スーパーマーケットの利用が多く、日常使いに利用された方が多かったものと推測。日用品を扱う業種への利用割合が高い点は、他自治体の商品券事業および給付事業と同様の特徴。なお、どの業種の一定のペースで利用されている中、スーパーマーケット、ショッピングについては、年末に利用金額の傾きがやや急になっている。



利用金額 店舗地域×利用者居住地域

萩原・下呂・金山地域の居住者は、居住地域内の利用額が最も多い一方、馬瀬・小坂地域に居住者は萩原地域内の利用が最も多くなっている。

店舗地域 単位：円

利用者居住地域

	下呂地域	金山地域	小坂地域	馬瀬地域	萩原地域
下呂地域	10,570,174	323,572	34,157	16,453	2,887,925
金山地域	824,853	4,578,611	5,056	1,600	444,583
小坂地域	320,831	4,407	1,203,819	9,870	1,748,883
馬瀬地域	195,583	235	6,793	41,105	869,446
萩原地域	2,079,504	39,695	309,207	51,323	11,030,998

利用金額 年代×業種

40歳から69歳までのスーパーマーケット・ショッピングでの利用が多くなっている。

業種

単位：円

年代

	コンビニエンス ストア	サービス	ショッピング	スーパー マーケット	ドラッグストア	医療・病院	飲食店	家電量販店	教育 (学校・塾)	その他
10歳～19歳	161,661	147,093	322,220	320,378	0	0	193,016	41,471	0	550
20歳～29歳	436,795	279,141	558,484	889,511	5,078	1,018	377,104	36,951	0	12,155
30歳～39歳	521,292	460,023	1,126,428	1,970,690	15,335	9,870	591,039	77,116	0	26,978
40歳～49歳	848,617	675,112	2,152,930	2,744,253	11,800	18,495	717,895	170,279	115	21,781
50歳～59歳	753,376	866,271	2,259,031	2,811,124	29,980	31,347	697,530	147,301	0	52,385
60歳～69歳	517,717	629,748	1,984,938	3,007,686	64,701	28,180	604,209	70,161	4,000	50,306
70歳～79歳	196,809	399,260	1,698,784	2,718,276	61,740	8,927	420,148	79,587	0	35,357
80歳以上	27,254	139,380	385,515	758,902	10,029	4,110	81,749	15,191	0	5,000

利用回数 年代×業種

利用金額が多かったスーパーマーケット・ショッピングだけでなく、コンビニエンスストアでも利用が多かった。

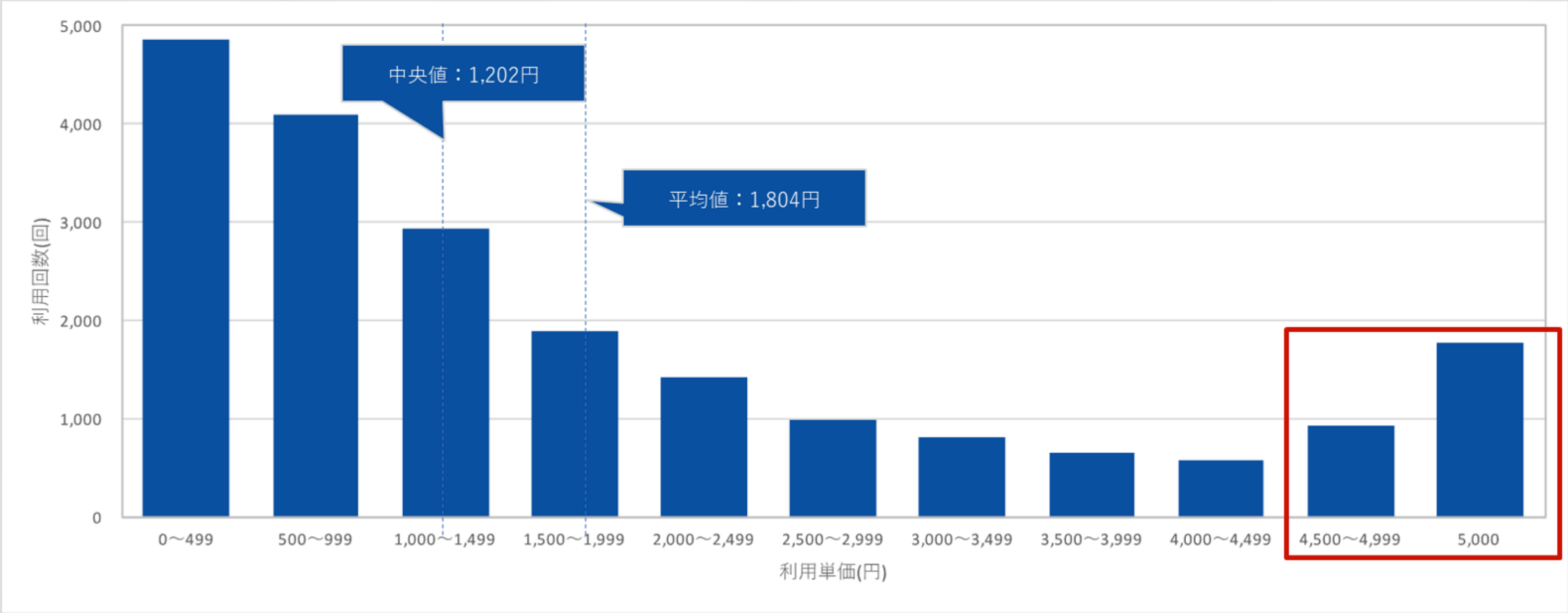
業種単位：回

年代

	コンビニエンス ストア	サービス	ショッピング	スーパー マーケット	ドラッグストア	医療・病院	飲食店	家電量販店	教育 (学校・塾)	その他
10歳～19歳	206	56	147	209	0	0	135	11	0	1
20歳～29歳	581	116	270	521	4	1	175	12	0	6
30歳～39歳	681	197	611	1,260	11	12	298	27	0	14
40歳～49歳	1,050	279	1,038	1,686	8	21	338	64	1	12
50歳～59歳	902	358	1,017	1,526	11	27	309	41	0	18
60歳～69歳	716	302	775	1,500	33	15	267	24	1	25
70歳～79歳	213	150	627	1,177	20	12	186	22	0	10
80歳以上	24	39	126	279	3	2	25	4	0	1

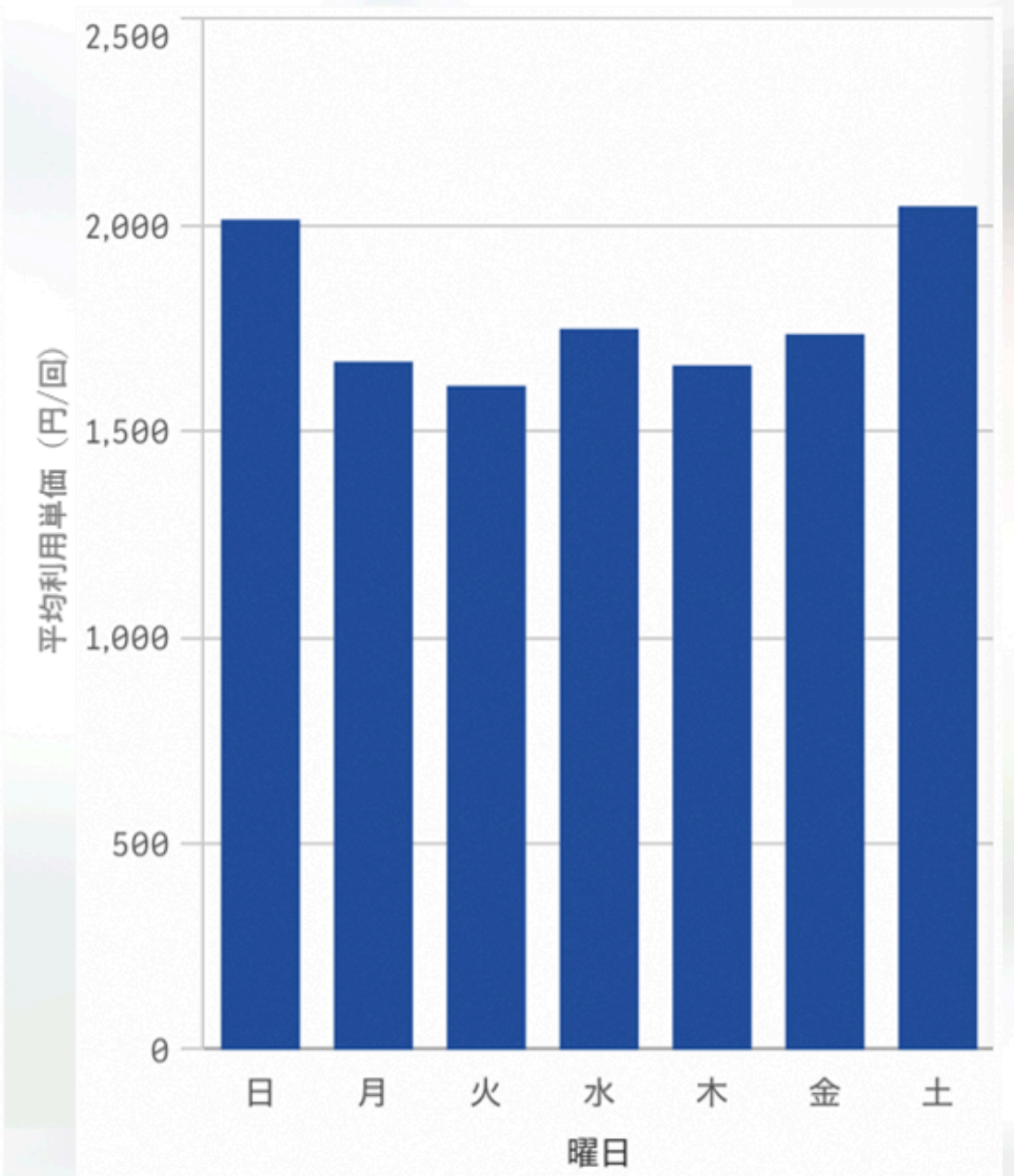
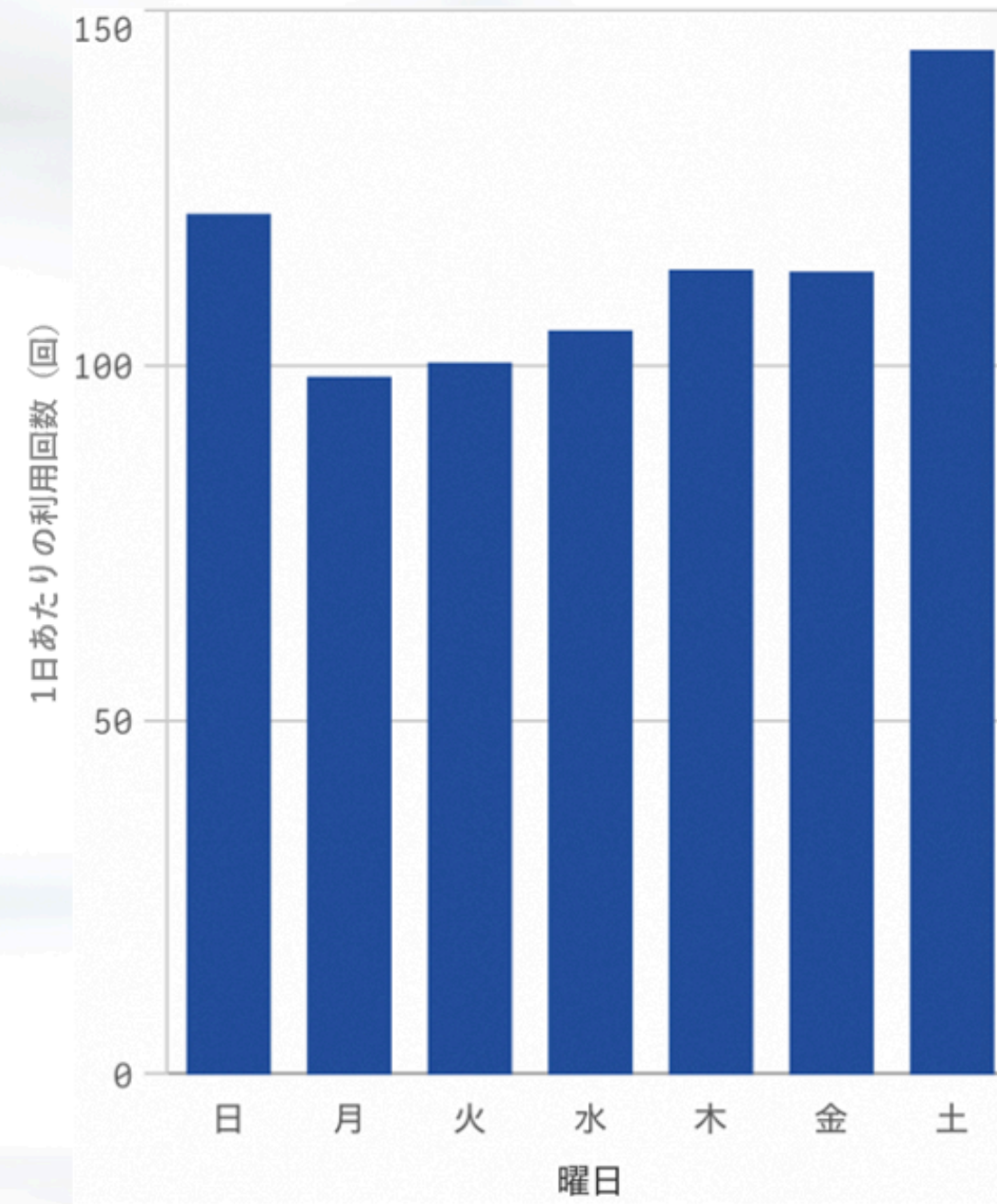
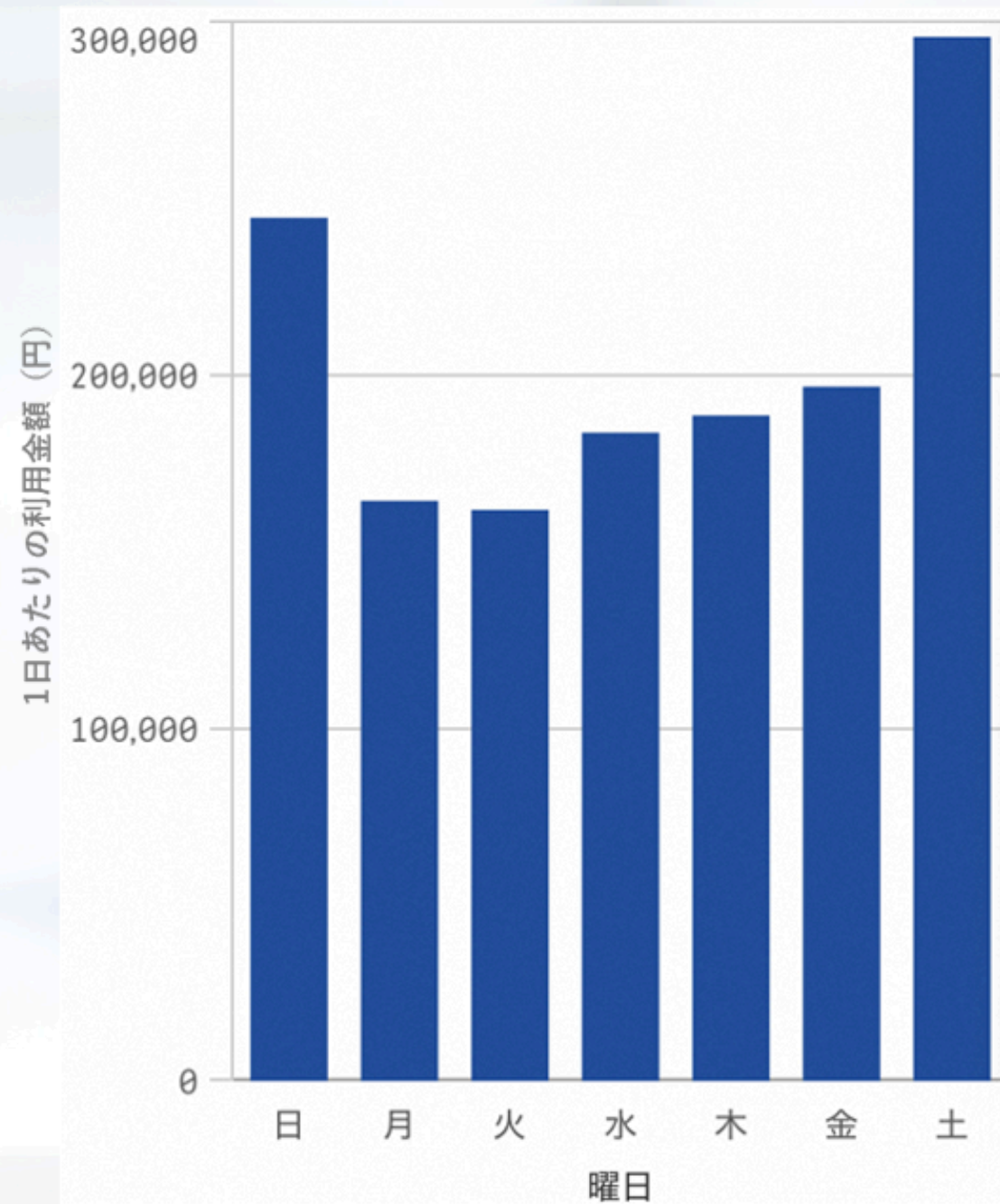
1 回あたりの利用金額の分布

500円未満の利用が最も多くなっているものの、4,500円～5,000円の利用も多く、給付金を一度に利用した人が一定数存在した。

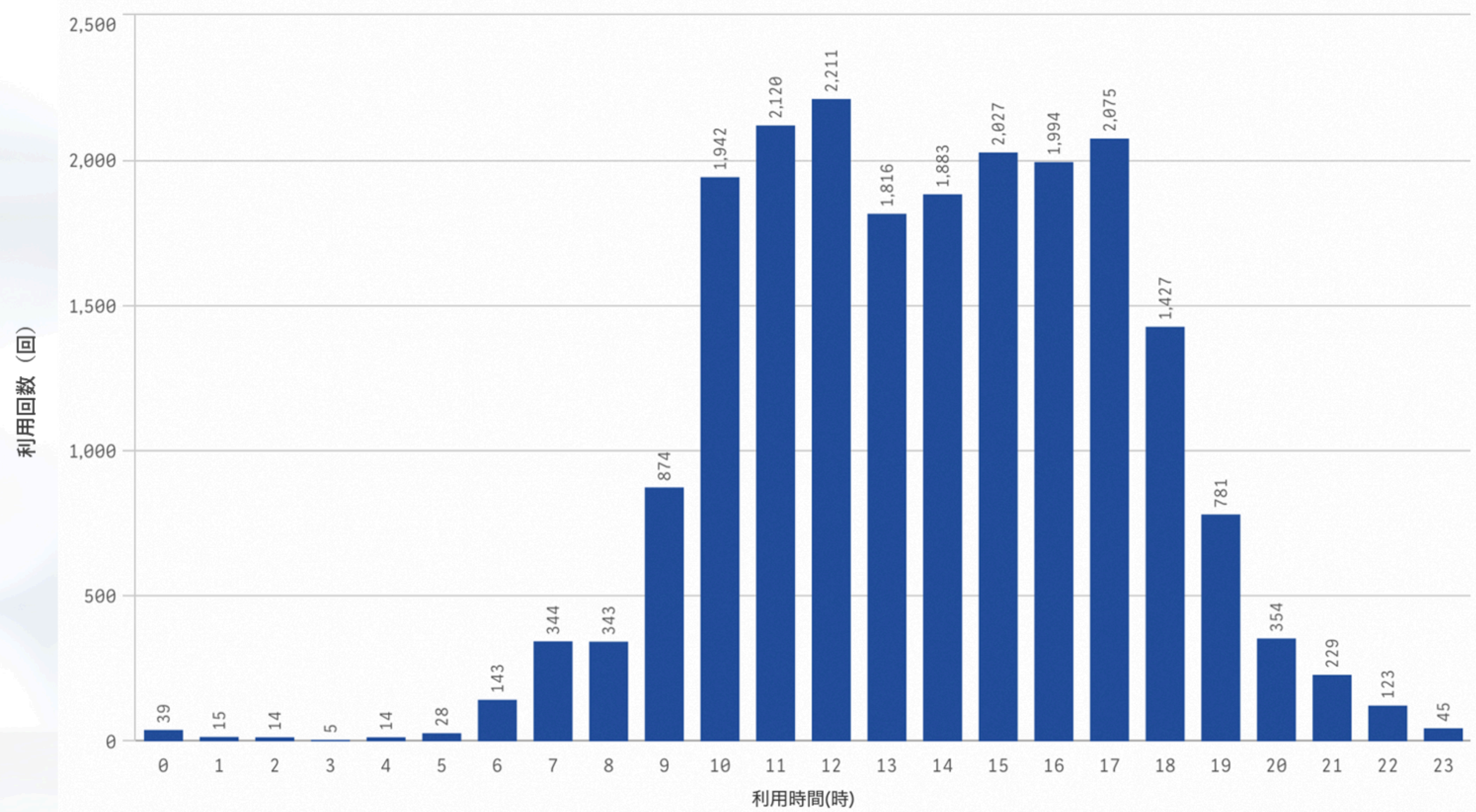


曜日別平均利用金額・回数・単価

1日あたりの利用金額回数・単価は土日の利用状況が平日の利用状況よりも高くなっている。



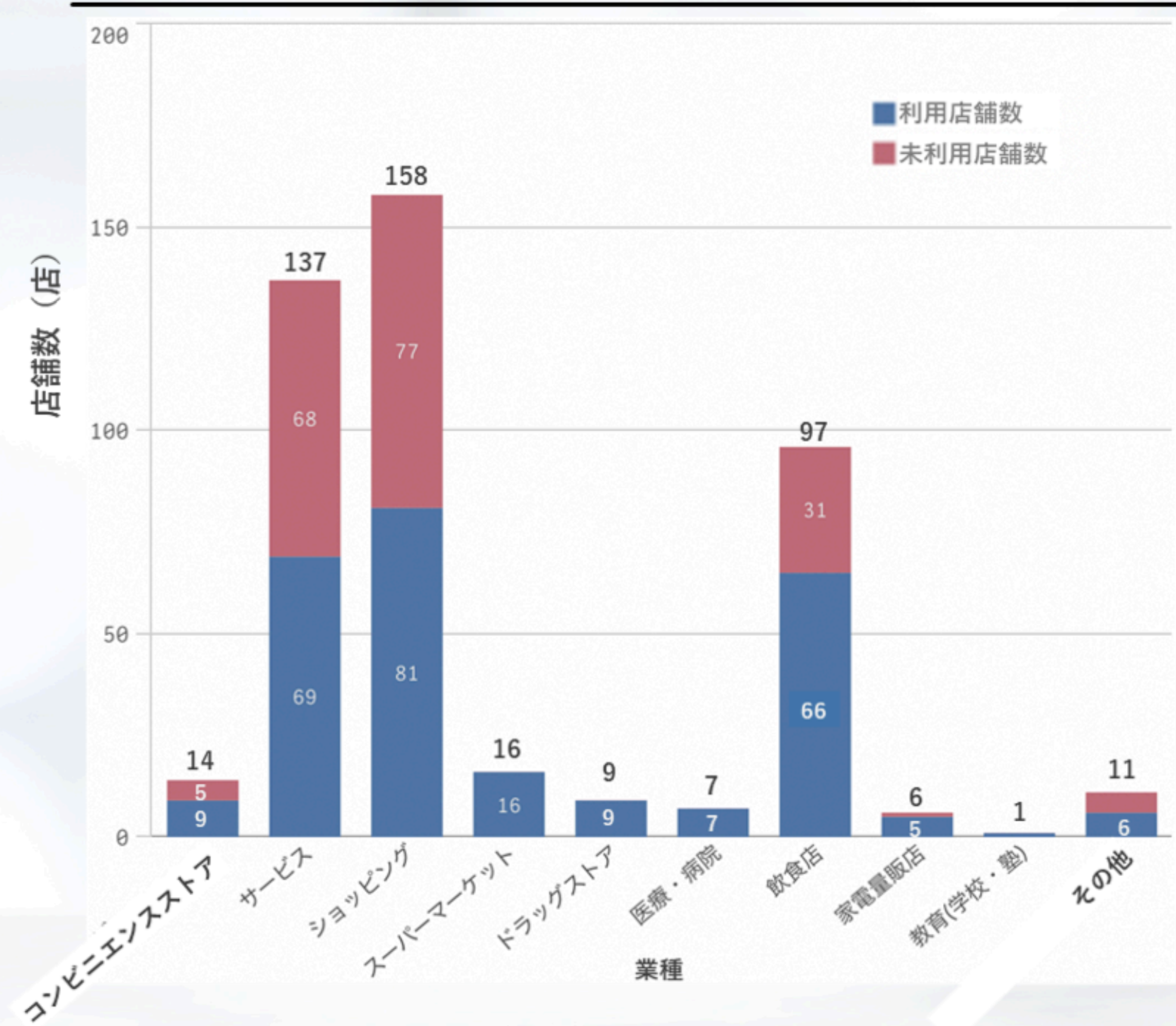
利用された時間帯



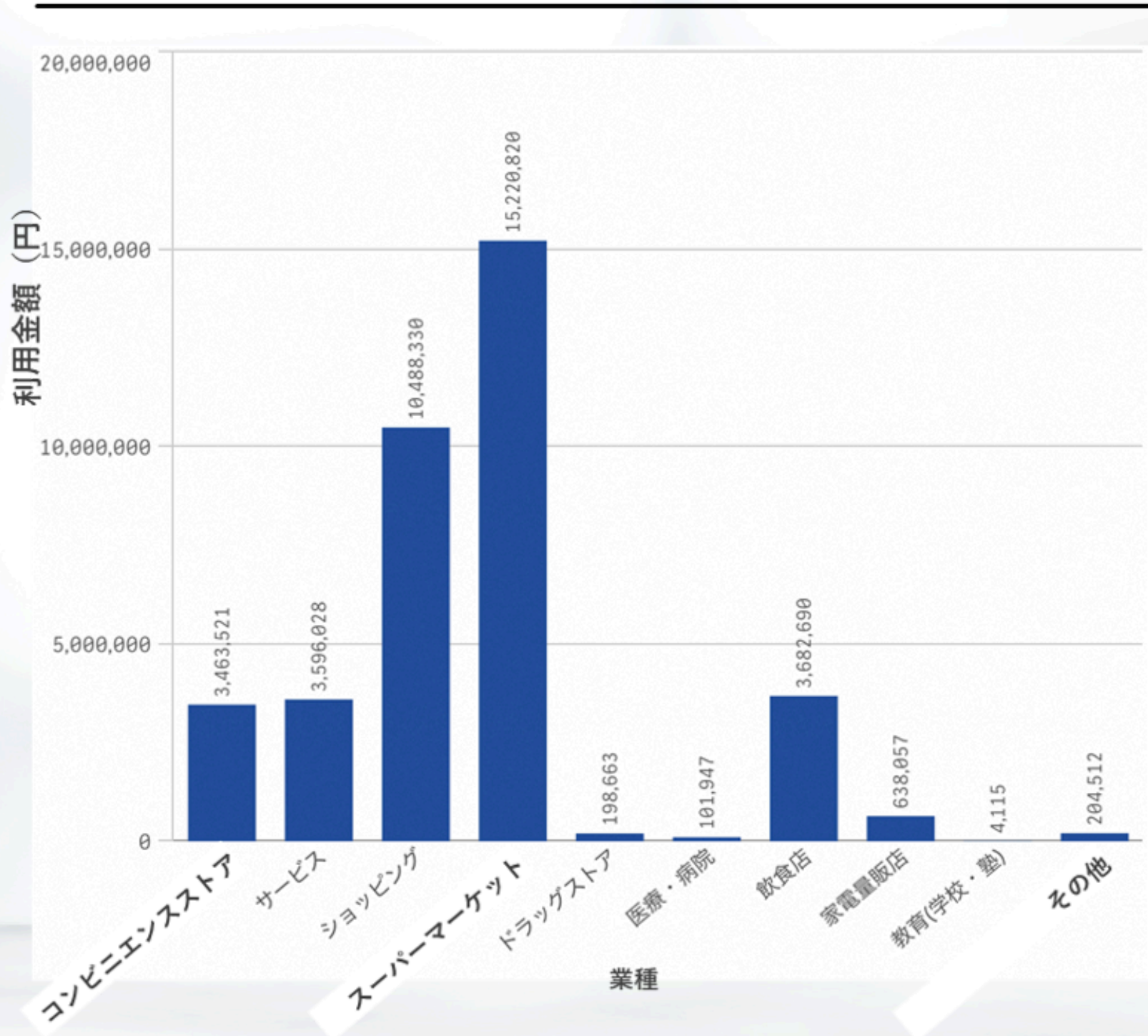
業種別の登録店舗数と利用金額

利用された店舗は全体の半分程度。スーパーマーケットは16店舗と他業種に比べて店舗数は少ないが、利用金額では最も多く、日常使いで利用されたものと推測。飲食業、サービス業は店舗数は多いが、利用された店舗はあまり多くない。

業種別の登録店舗数

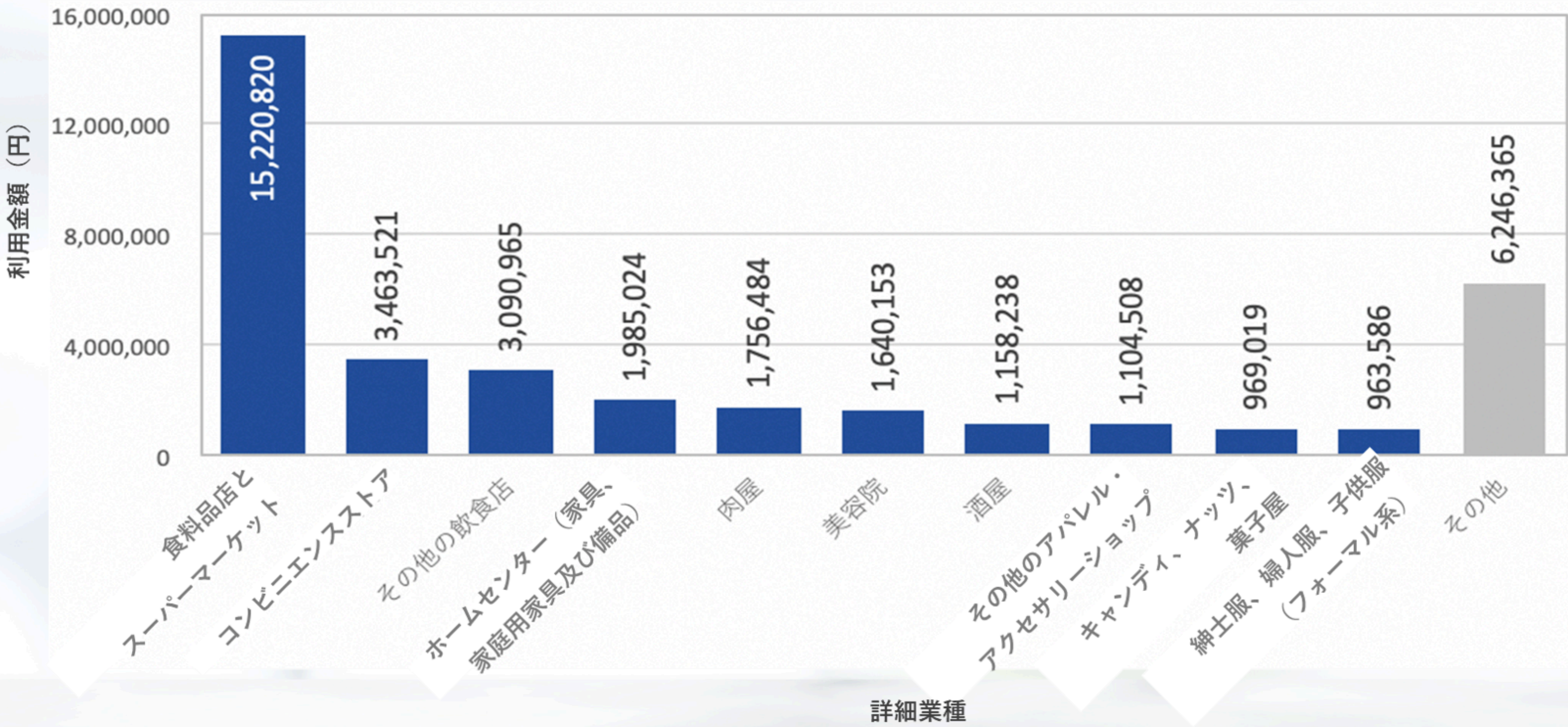


業種別の利用金額

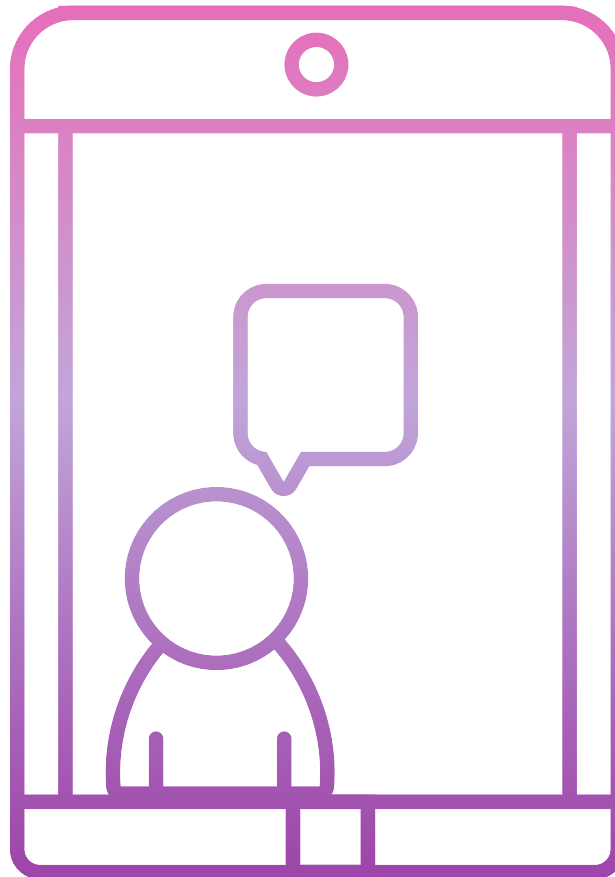


詳細業種別の利用金額

スーパーマーケット・コンビニ・肉屋等日用品の購入に多く利用されている。



登録者からの声（一部抜粋）



1. デジタル化には大賛成ですが、高齢者にもわかる説明と簡単な入力方法にしてほしい
2. 飲食店に勤務していますが、今後の商品券はすべてデジタルで進めてほしい
3. 重要な通知も埋もれないような工夫があれば、市からの通知はすべてオンラインでいいと思う
4. 下呂市でxIDアプリを有効に活用してほしい

市民の意見（価値）をカタチにできるよう進めてまいります！